

# 平成27年度第1回幕別町創生総合戦略審議会 議案

日時 平成27年6月30日(火)

午後6時30分

場所 幕別町民会館2階講堂

## 〔会議次第〕

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 町長挨拶
- 4 委員の紹介
- 5 会長の選出について 資料1  
          会長
- 6 会長挨拶
- 7 職務代理者の指定について 資料2  
          職務代理者
- 8 議事 資料3
  - (1) 人口ビジョン及び総合戦略の策定について 資料4
  - (2) 幕別町の人口動向について 資料5
  - (3) 住民アンケートの実施について 資料6
  - (4) 幕別町まち・ひと・しごと創生に関するアイデア募集の結果について
  - (5) 人口減少対策に関する若手職員プロジェクトチーム報告書について
  - (6) その他
- 9 閉会

次回開催予定 平成27年8月下旬

(企画室)

# 幕別町創生総合戦略審議会 委員名簿

委員期間 H27.6.30～H30.6.29

番号	区分	氏名	年齢	性別	職業等
1	町内の公共的団体及び関係機関の役員又は職員	森 晃	49	男	幕別町農協管理部企画課長
2		土谷 光宏	56	男	札内農協管理部長
3		山内 信博	52	男	忠類農協参事
4		滝田 慎	46	男	北洋銀行幕別支店長
5		森岡 孝仁	47	男	帯広信用金庫札内支店長
6		木島 知昭	43	男	十勝信用組合幕別支店長
7		藤原 治	65	男	幕別町商工会会長
8		佐々木 成仁	46	男	幕別町社会福祉協議会事務局次長
9	識見を有する者	大槻 浩之	55	男	十勝の杜病院 副院長
10		宮田 勝文	51	男	特定非営利活動法人幕別ケアサポート 代表
11		山本 美穂	34	女	札内南保育園 副園長
12		喜多 敦	53	男	幕別町校長会 事務局 (札内中学校校長)
13		田巻 正俊	57	男	幕別地区連合 会長 (札内北小学校教諭)
14		仙北谷 康	51	男	帯広畜産大学 地域環境学研究部門教授
15		水口 伸生	47	男	十勝総合振興局 産業振興部とちか食推進室 戦略策定支援担当部長
16	公募による者	中村 幸寛	54	男	
17		宮本 真由美	55	女	
18		堀川 資庸	40	男	
19		三島 まゆみ	48	女	
20		村田 辰徳	33	男	

	男	女
公共的団体及び関係機関の役員又は職員	8	0
識見を有する者	6	1
公募による者	3	2
20人の委員全員の平均年齢	17	3

# 【創生総合戦略審議会関連例規】

資料 1

## ○幕別町創生総合戦略審議会条例（平成27年3月20日条例第9号）

（設置）

第1条 まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条第1項に規定する市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略について、重要な事項を調査審議するため、町長の附属機関として、幕別町創生総合戦略審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（所掌事項）

第2条 審議会は、町長の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 幕別町創生総合戦略（次号において「総合戦略」という。）の策定に関すること。
  - (2) 総合戦略に基づく施策の実施状況及び効果の検証に関すること。
- 2 審議会は、前項各号に掲げる事項に関し、町長に意見を述べることができる。

（組織）

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 町の区域内の公共的団体及び関係機関の役員又は職員
- (2) 識見を有する者
- (3) 公募による者
- (4) その他町長が必要と認めた者

（委員の任期）

第4条 委員の任期は、3年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長）

第5条 審議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。

（会議）

第6条 審議会は、会長が招集する。

- 2 会長は、会議の議長となる。
- 3 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことはできない。
- 4 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（委任）

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、町長が定める。

附 則

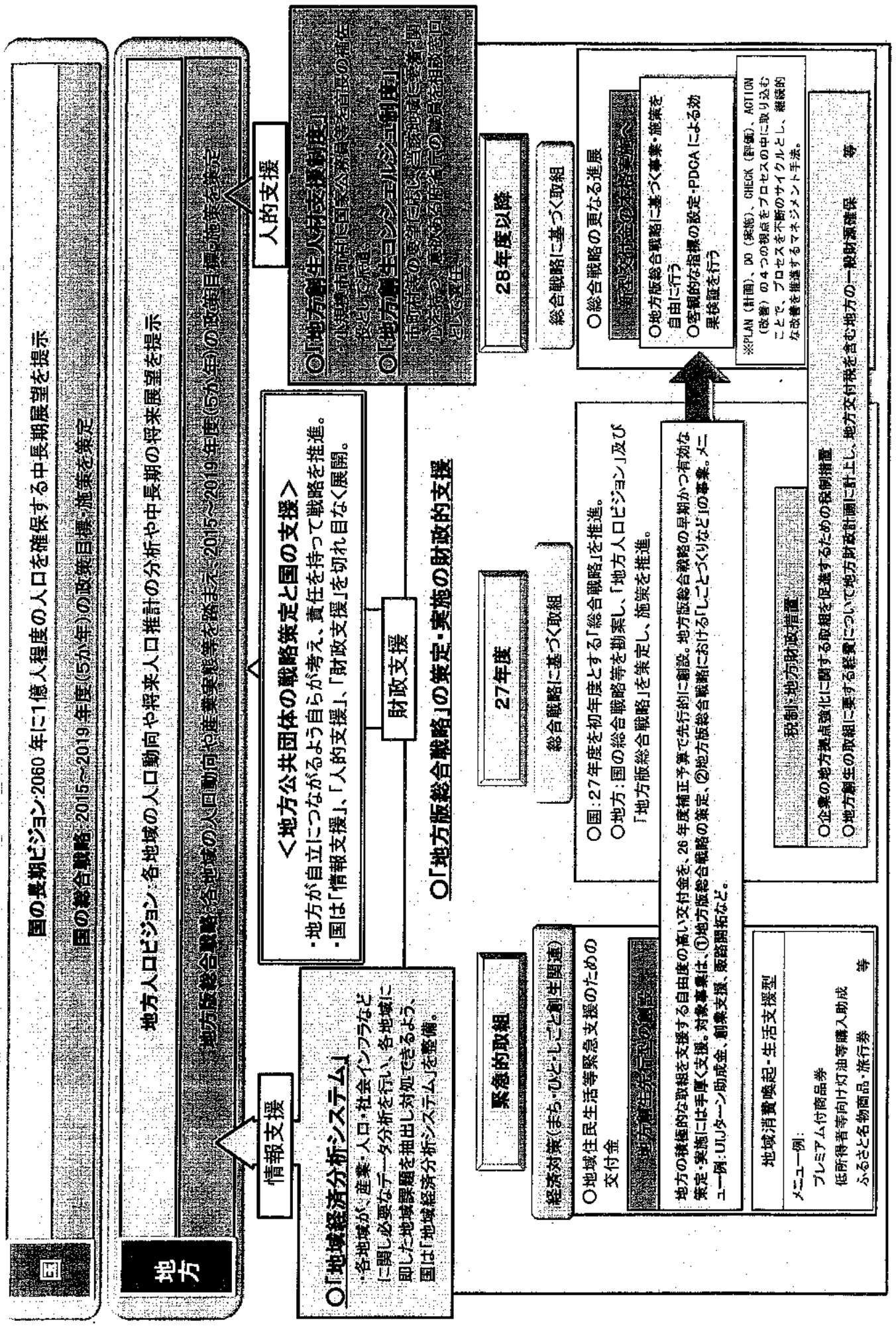
この条例は、平成27年4月1日から施行する。

○幕別町情報公開条例（平成11年12月21日条例第31号） 【関係部分抜粋】

（会議の公開）

第20条 実施機関に置く附属機関及びこれに類するものは、その会議を公開するものとする。ただし、当該会議の審議の内容が許可、認可等の審査、行政不服審査、紛争処理、試験に関する事務等に係るものであって、会議を公開することが適当でないと認められるときは、この限りではない。

# 地方への多様な支援と「切れ目」のない施策の展開



# まち・ひとと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像

## 長期ビジョン

中長期展望(2050年を視野)

### I. 人口減少問題の克服

◎2050年に1億人程度の人口を確保

◆人口減少の歯止め

・国民の希望が実現した場合の出生率(国民希望出生率)=1.8

◆「東京一極集中」の是正

### II. 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP成長率1.5~2%程度維持

(人口安定化、生産性向上が実現した場合)

## 総合戦略(2015~2019年度の5か年)

### 主な重要業績評価指標(KPI) (※1)

- 農林水産業の成長産業化  
6次産業市場 10兆円、就業者数5万人創出
- 訪日外国人旅行消費額9兆円へ(2013年1.4兆円)、雇用者数8万人創出
- 地域の中小企業、中核企業候補1,000社支援、雇用者数8万人創出
- 地方移住の推進  
年間移住あっせん件数 11,000件
- 企業の地方拠点強化  
拠点強化件数 7,500件、雇用者数4万人増
- 地方大学等活性化: 自県大学進学率割合平均 36%(2013年度 32.9%)
- 若い世代の経済的安定: 若者就業率 78%(2013年 75.4%)
- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援: 支援ニーズの高い妊産婦への支援実施率 100%
- ワーク・ライフ・バランスの実現: 男性の育児休業取得率 13%(2013年 2.03%)
- 「小さな拠点」の形成: 「小さな拠点」形成数
- 定住自立圏の形成促進: 協定圏域等圏域数 140圏域(2014年4月時点 79圏域)
- 既存ストックのマネジメント強化: 中古・リノベーション市場規模 20兆円(2010年 10兆円)

### 基本目標(成果指標、2020年)

「しごと」と「ひと」の好循環作り

地方における安定した雇用を創出する

- ◆若者雇用創出数(地方)  
2020年までの5年間で30万人
- ◆若い世代の正規雇用労働者等の割合  
2020年までに全ての世代と同水準  
(15~34歳の割合: 92.2%(2013年) (全ての世代の割合: 93.4%(2013年))
- ◆女性の就業率: 2020年までに73%(2013年 69.5%)

地方への新しいひとの流れをつくる

- ◆現住希望者年間 10万人入居
- ◆地方・東京圏の転出入均衡(2020年)  
地方→東京圏転入 6万人減  
東京圏→地方転出 4万人増

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考えられる人の割合 40%以上(2013年度 19.4%)
- ◆第1子出産前後の女性継続就業率 55%(2010年 38%)
- ◆結婚希望業績指標 80%(2010年 68%)
- ◆夫婦子ども数予定(2.12)実績指標 95%(2010年 93%)

好循環を支える、まちの活性化

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るにも、地域と地域を連携する

- ◆地域連携数など

※目標数値は地方版総合戦略を踏まえ設定

### 主な実施策

- ① 地域産業の競争力強化(兼業複業的取組)
  - 包括的創業支援、中核企業支援、地域イノベーション推進、対内投資促進、金融支援
- ② 地域産業の競争力強化(分野別取組)
  - サービス産業の付加価値向上、農林水産業の成長産業化、観光、ローカル版クールジャパン、ふるさと名物、文化、芸術、スポーツ
- ③ 地方への人材選抜、地方での人材育成、雇用対策
  - 「地域しごと支援センター」の整備・稼働
  - 「プロフェッショナル人材センター」の稼働

- ① 地方移住の推進
  - 「全国移住促進センター」の開設、移住情報一元提供システム整備
  - 「地方居住推進国民会議」(地方居住(二地域居住を含む)推進)
  - 「日本版 GRC※2」の検討、普及
- ② 地方拠点強化、地方採用・就労拡大
  - 企業の地方拠点強化等
  - 政府関係機関の地方移転
  - 遠隔勤務(サテライトオフィス、テレワーク)の促進
- ③ 地方大学等若者5か年戦略

- ① 若者雇用対策の推進、正社員実現加速
- ② 結婚・出産・子育て支援
  - 「子育て世代包括支援センター」の整備
  - 子ども・子育て支援の充実
  - 多世代帯支援、三世帯同居・近居支援
- ③ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現(「働き方改革」)
  - 育児休業の取得促進、長時間労働の抑制、企業の取組の支援等

- ① 「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成支援
- ② 地方都市における経済・生活圏の形成(地域連携)
  - 都市のコンパクト化と周辺等のネットワーク形成
  - 「連携中核都市圏」の形成
- ③ 大都市圏における安心な暮らしの確保
- ④ 既存ストックのマネジメント強化

※1 Key Performance Indicatorの略。政府ごとの達成すべき成果目標として、日本経済戦略(2013年6月)で設定されている。

※2 米国では高齢者が移り住み、都道府県から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービスを受けるなど生活支援や社会活動等に参画するような共同体(Continuing Care Retirement Community)が約2,000カ所ある。

# まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」が目指す将来の方向

## ◎人口問題に対する基本認識—「人口減少時代」の到来

- ・2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。人口減少は地方から始まり、都市部へ広がっていく。
- ・人口減少は、経済社会に対して大きな重荷となる。
- ・東京圏には過剰に人口が集中しており、今後も人口流入が続く可能性が高い。東京圏への人口の集中が日本全体の人口減少に結び付いている。

## ◎今後の基本的視点

- 3つの基本的視点
  - ①「東京一極集中」の是正
  - ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
  - ③地域の特性に即した地域課題の解決
- 国民の希望の実現に全力を注ぐことが重要。



## ◎目指すべき将来の方向—将来にわたって「活力ある日本社会」を維持する

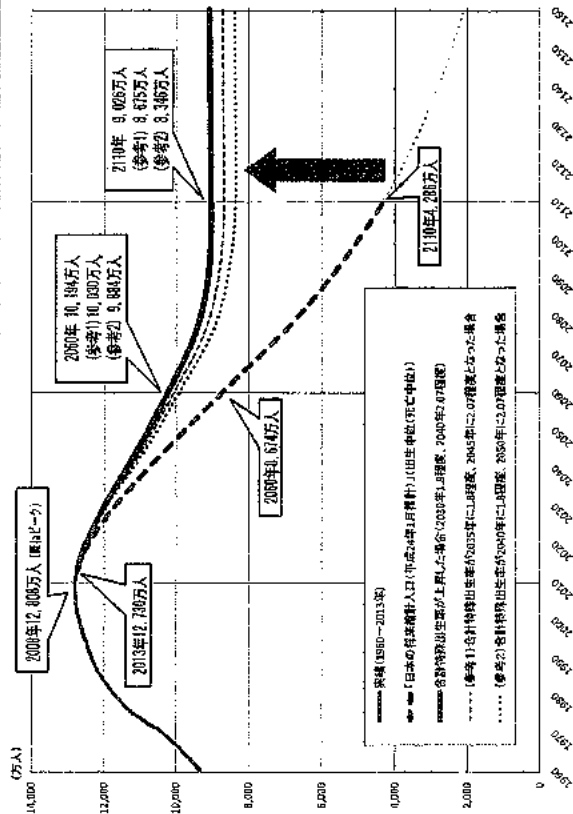
- 若い世代の希望が実現すると、出生率は1.8程度に向上する。
  - ・国民希望出生率1.8は、OECD諸国の半數近くが実現。我が国においてまず目指すべきは、若い世代の希望の実現に取り組み、出生率の向上を図ること。
- 人口減少に歯止めがかかると50年後1億人程度の人口が確保される。
  - ・2030～2040年頃に出生率が2.07まで回復した場合、2060年には1億人程度の人口を確保すると見込まれる。
- さらに、人口構造が「若返る時期」を迎える。
  - ・人口減少に歯止めがかかると、高齢化率は35.3%でピークに達した後は低下し始め、将来は27%程度にまで低下する。さらに高齢者が健康寿命を延ばすと、事態はより改善する。
- 「人口の安定化」とともに「生産性の向上」が図られると、50年後も実質GDP成長率は、1.5～2%程度が維持される。

## ◎地方創生がもたらす日本社会の姿

- ＜地方創生が目指す方向＞
  - 自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す。
    - ・全国一律でなく、地方自らが地域資源を掘り起し活用することにより、多様な地域社会を形成。
  - 外部との積極的なつながりにより、新たな視点から活性化を図る。
    - ・外部人材の取り込みや国内外の市場との積極的なつながりによって、新たな発想で取り組む。
  - 地方創生が実現すれば、地方が先行して若返る。
  - 東京圏は、世界に開かれた「国際都市」への発展を目指す。
    - ・地方創生は、日本の創生であり、地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし、日本全体を引っ張っていく

図1 我が国の人口の推移と長期的な見通し

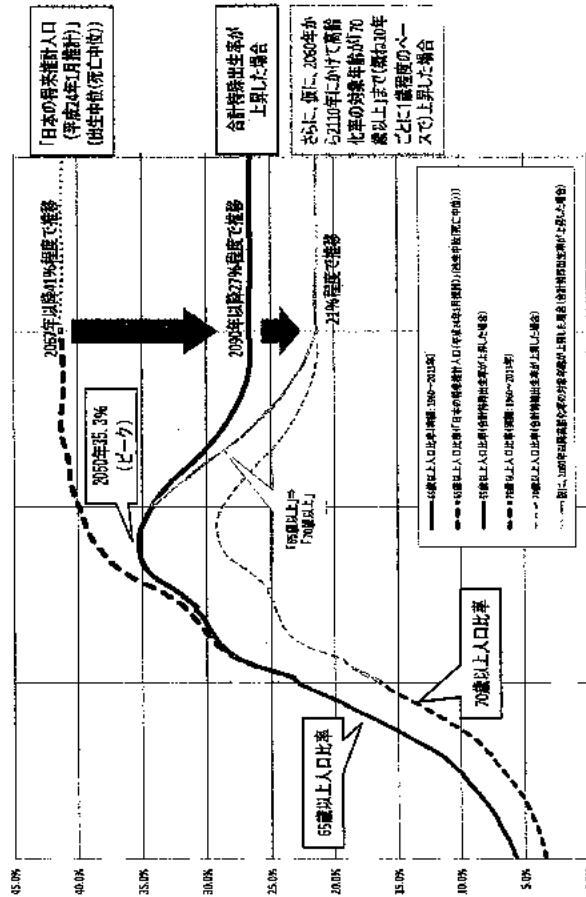
- 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））によると、2060年の総人口は約8,700万人まで減少すると見込まれている。
- 仮に、合計特殊出生率が2030年に1.8程度、2040年に2.07程度（2020年には1.6程度）まで上昇すると、2060年の人口は約1億2,000万人となり、長期的には9,000万人程度で概ね安定的に推移するものと推計される。
- なお、仮に、合計特殊出生率が1.8や2.07となる年次が5年ずつ遅くなると、将来の定常人口が概ね300万人程度少なくなると推計される。



(注)実線は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））による推計。破線は、2000～2013年の実績。2013～2060年の推計は、2013～2060年の推計出生率（出生中位）と2013～2060年の推計死亡率（死亡中位）を仮定して算出されたものである。また、2013～2060年の推計出生率（出生中位）は、2013～2060年の推計出生率（出生中位）と2013～2060年の推計死亡率（死亡中位）を仮定して算出されたものである。また、2013～2060年の推計出生率（出生中位）は、2013～2060年の推計出生率（出生中位）と2013～2060年の推計死亡率（死亡中位）を仮定して算出されたものである。

図2. 我が国の高齢化率の推移と長期的な見通し

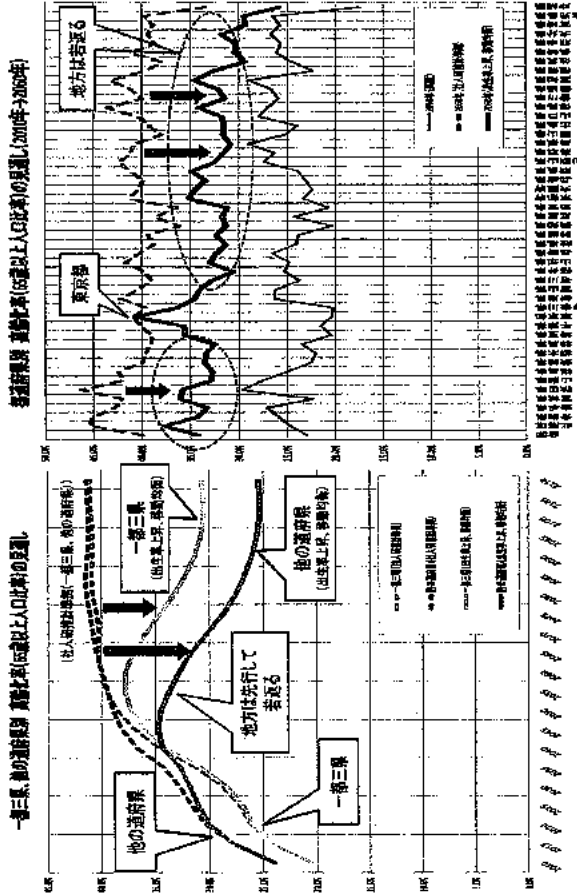
- 「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））では、高齢化率（65歳以上人口比率）は、将来的に41%程度まで上昇すると見通されているが、仮に、出生率が上昇すれば、2050年の35.3%をピークに、長期的には、21%程度まで低下すると推計される。
- さらに、将来的に健康寿命の延伸等に伴って高齢化率の対象年齢が「70歳以上」まで上昇するとすれば、高齢化率（70歳以上人口比率）は、概ね21%程度まで低下することとなる。



(注1) 実数は、総務省統計局「国勢調査結果」人口推計による。国立社会科学院「人口問題研究所」日本の将来推計人口(平成24年1月推計)は出生中位(死亡中位)の仮定による。2100~2150年までの仮定等を含む。また、ひとこと調査本報事務局において(仮推定)に過ぎないものである。  
 (注2) 「合計特殊出生率が上昇した場合」は、総務省統計局「国勢調査結果」出生率(出生率)が上昇した場合、合計特殊出生率が2009年には1.09程度(2007年には1.08程度)となった場合について、おさひとこと調査本報事務局において推計を行ったものである。

図3. 地域別の高齢化率の長期的な見通し

- 現状のまま推移したとすれば、一部三県においても、他の道府県においても、2070~80年頃以降、高齢化率は41%程度で推移するものと推計される。
- 仮に、2040年までに、現行程度の地域間の出生率格差を残しつつ全国の合計特殊出生率が21%程度まで上昇し、移動が均衡した場合には、高齢化率は、他の道府県では、2045年頃の35%程度をピークに25~26%程度まで低下、一部三県では、2055年頃の30%程度まで低下すると推計される。



(注1) 2010年(実数)は、総務省統計局「国勢調査結果」による。  
 (注2) 「出生率(出生率)が上昇した場合」は、国立社会科学院「人口問題研究所」日本の将来推計人口(平成24年1月推計)の2040年までの傾向を延長して、おさひとこと調査本報事務局において推計したものである。出生率(出生率)が均衡した場合、出生率(出生率)が低下した場合(出生率(出生率)が均衡した場合)の仮定による。2100~2150年までの仮定等を含む。また、ひとこと調査本報事務局において(仮推定)に過ぎないものである。  
 (注3) 「合計特殊出生率が上昇した場合」は、総務省統計局「国勢調査結果」出生率(出生率)が上昇した場合、合計特殊出生率が2009年には1.09程度(2007年には1.08程度)となった場合について、おさひとこと調査本報事務局において推計を行ったものである(仮定の推計値で推計を行っている)。



# まち・ひと・しごと創生長期ビジョン -概要-

-国民の「認識の共有」と「未来への選択」を目指して-

※ 「長期ビジョン」は、日本の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する国民の認識の共有を目指すとともに、今後、取り組むべき将来の方向を提示するもの。

## I. 人口問題に対する基本認識 -国民の認識の共有が最も重要である

### 1. 「人口減少時代」の到来

○2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。

2020年代初めは毎年60万人程度の減少だが、2040年代頃には年100万人程度の減少にまで加速する。

○人口減少の状況は、地域によって大きく異なる。

人口減少は、①第一段階（若年減少、老年増加）、②第二段階（若年減少、老年維持・微減）、③第三段階（若年減少、老年減少）を経て進行。東京都区部や中核市は「第一段階」だが、地方は既に「第二・三段階」に突入。2010～2040年の間に、東京都区部は▲6%に対して、人口5万人以下の地方都市は▲28%、過疎地域市町村は▲40%で、人口急減という事態。

○人口減少は地方から始まり、都市部へ広がっていく。

地方は、若い世代が東京圏へ流出する「社会減」と、出生率が低下する「自然減」の両者により、都市部に比べ数十年も早く人口減少。地方の人口が減少し、地方から大都市への人材供給が枯渇すると、いずれ大都市も衰退。

### 2. 「人口減少」が経済社会に与える影響

○人口減少は、経済社会に対して大きな重荷となる。

人口減少に伴う高齢化の結果、経済規模が縮小し、一人あたりの国民所得が低下するおそれ（人口オナーナス）。

○地方では、地域経済社会の維持が重大な局面を迎える。

このまま推移すると、2050年には、現在の居住地の6割以上で人口が半分以下に減少、2割の地域では無居住化すると推計されている。

### 3. 東京圏への人口の集中

○東京圏には過度に人口が集中している。

東京圏への集中度合いは国際的にも高い水準。東京圏は、長時間通勤、住宅価格の高さ、待機児童問題等様々な課題を抱えている。

○今後も東京圏への人口流入が続く可能性が高い。

人口流入は東京圏だけ（年間転入超過数：約10万人）であり、今後、東京オリンピックの開催や高齢化の進展は人口流入を増幅させる可能性。

○東京圏への人口の集中が、日本全体の人口減少に結び付いている。

このまま推移すると、「過密の東京圏」と「人口が極端に減った地方」が併存しながら人口減少が進行。地方に比べ低い出生率の東京圏に若い世代が集中することによって、日本全体としての人口減少に結び付いている。

## Ⅱ. 今後の基本的視点

### 1. 人口減少問題に取り組む意義

○人口減少に対する国民の危機感が高まっている。

世論調査結果（2014年8月）では、9割以上の国民が「人口減少は望ましくない」と回答。

○的確な政策を展開し、官民挙げて取り組めば、未来は開ける。

先進国の中でも、いったん出生率が低下しながら、回復している国々が存在（フランス：1993年1.66→2010年2.0、スウェーデン：1999年1.50→2010年：1.98）。

○人口減少への対応は、「待ったなし」の課題である。

出生率の向上が早いほど、効果は大きい。出生率の向上が5年遅れるごとに、将来の定常人口は概ね300万人ずつ減少。

### 2. 今後の基本的視点

○3つの基本的視点から取り組む。

人口減少に歯止めをかける「積極戦略」と、人口減少に対応するための「調整戦略」を同時に推進。

①「東京一極集中」の是正

②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現

③地域の特性に即した地域課題の解決

○国民の希望の実現に全力を注ぐ。

第一に、地方への移住の希望に応え、地方への新しいひとの流れをつくる。東京都在住者の4割は「移住する予定」又は「今後検討したい」という調査結果。

第二に、若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する。18～34歳の未婚男女の9割程度は結婚の意思、また、夫婦が予定する平均子ども数は2010年で2.07人。

○若い世代の結婚・子育ての希望に応える。

結婚の希望の実現のためには、「質」を重視した雇用を確保し、安定的な経済的基盤の確保をすることが必要。「子育て支援」は喫緊の課題。また、男女ともに子育てと就労を両立させる「働き方」の実現が重要。

## Ⅲ. 目指すべき将来の方向

### 1. 「活力ある日本社会」の維持のために

◎今後目指すべき将来の方向は、将来にわたって「活力ある日本社会」を維持することである

○人口減少に歯止めをかける。

出生率が人口置換水準（2.07）に回復することが人口が安定する必須の条件。OECDレポート（2005年）では、日本は育児費用軽減や育児休業の取得促進、保育サービス拡充等の対策が講じられれば、出生率は2.0まで回復する可能性があるとの推計。

○若い世代の希望が実現すると、出生率は1.8程度に向上する。

国民希望出生率1.8は、OECD諸国の半数近くが実現。我が国においてまず目指すべきは、若い世代の結婚・子育て希望の実現に取り組む、出生率の向上を図ること。

○人口減少に歯止めがかかると、2060年に1億人程度の人口が確保される。

2030～2040年頃に出生率が2.07まで回復した場合、2060年には総人口1億人程度を確保し、2090年頃には人口が定常状態になると見込まれる。

○さらに、人口構造が「若返る時期」を迎える。

人口減少に歯止めがかかると、高齢化率は2050年に35.3%でピークに達した後は低下し始め、2090年頃には現在とほぼ同水準の27%程度にまで低下する。若返りにより、「働き手」の増加が経済成長を牽引するなど経済的に好環境となる（人口ボーナス）。さらに高齢者が「健康寿命」を延ばすと、事態は更に改善。

○「人口の安定化」とともに「生産性の向上」が図られると、2050年代に実質GDP成長率は、1.5～2%程度が維持される。

## 2. 地方創生がもたらす日本社会の姿

○自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す。

地方創生が目指すのは、地域に住む人々が、自らの地域の未来に希望を持ち、個性豊かで潤いのある生活を送ることができる地域社会を形成すること。人口拡大期の全国一律のキャッチアップ型の取組ではなく、地方自らが地域資源を掘り起こし、それらを活用する取組が必要。また、地方分権の確立が基盤となる。

○外部との積極的なつながりにより、新たな視点から活性化を図る。

都市部から地方への新しいひとの流れを強くし、外部の人材を取り込んでいくことが重要。また、地域内や国内にとどまらず、海外の市場とつながっていくことは、農林水産業や観光などで大きな飛躍のチャンスとなる。

○地方創生が実現すれば、地方が先行して若返る。

地方創生が実現し、人口減少に歯止めがかかれば、地方の方が先行して若返る。地方において、豊かな地域資源やICTを活用して、新たなイノベーションを巻き起こし、活力ある地域社会を創生することが期待される。

○東京圏は、世界に開かれた「国際都市」への発展を目指す。

地方創生は、地方と東京圏を対立構造と考えるものではない。東京圏の人口集中・過密化の是正により、東京圏が抱える課題の解決につながる。東京圏は、日本の成長のエンジンとしての重要性は変わらず、今後は世界をリードする「国際都市」として発展していくことを期待。

○地方創生は、日本の創生であり、地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし、日本全体を引っ張っていく。



## まち・ひと・しごと創生総合戦略 -概要-

※ 「総合戦略」は、「長期ビジョン」を踏まえ、2015年度を初年度とする今後5か年の政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの。

### I. 基本的な考え方

#### 1. 人口減少と地域経済縮小の克服

○地方は、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高い。

○人口減少克服・地方創生のためには、3つの基本的視点から取り組むことが重要。

- ①「東京一極集中」の是正、
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

#### 2. まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

◎「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

##### ①しごとの創生

・若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した取組が重要。

##### ②ひとの創生

・地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すとともに、地方への移住・定着を促進する。  
 ・安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援を実現する。

##### ③まちの創生

・地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏等の各地域の特性に即して課題を解決する。

### II. 政策の企画・実行に当たっての基本方針

#### 1. 従来政策の検証

○これまでの政策は、一定の成果を上げたが、大局的には地方の人口流出や少子化に歯止めがかかっていない。その要因は次の5点。

- ①府省庁・制度ごとの「縦割り」構造
- ②地域特性を考慮しない「全国一律」の手法
- ③効果検証を伴わない「パラマキ」
- ④地域に浸透しない「表面的」な施策
- ⑤「短期的」な成果を求める施策

## 2. まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

○人口減少克服・地方創生を実現するため、5つの政策原則に基づき施策を展開する。

### ①自立性

・構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。

### ②将来性

・地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。

### ③地域性

・各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。

### ④直接性

・最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。

### ⑤結果重視

・PDCAメカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

## 3. 国と地方の取組体制とPDCAの整備

○国と地方の役割分担の下、地方を主体とした枠組みの構築に取り組む。

### ①5か年戦略の策定

・国と地方公共団体ともに、5か年の戦略を策定・実行する体制を整え、アウトカム指標を原則とした重要業績評価指標で検証・改善する仕組みを確立

### ②データに基づく、地域ごとの特性と地域課題の抽出

・国はデータに基づく地域経済分析システムを整備し、各地方公共団体は必要なデータ分析を行い、地域課題等を踏まえた「地方版総合戦略」を策定

### ③国のワンストップ型の支援体制等と施策のメニュー化

・国は関係府省庁で統一のワンストップ型執行体制の整備に努め、各地域が必要な施策を選択できるよう支援施策をメニュー化し、人的支援も実施

### ④地域間の連携推進

・国は新たな「連携中枢都市圏」や定住自立圏の形成を進め、各地方公共団体は、地域間の広域連携を積極的に推進。

## Ⅲ. 今後の施策の方向

### 1. 政策の基本目標(4つの基本目標)

<基本目標①> 地方における安定した雇用を創出する

➢ 2020年までの5年間の累計で地方に30万人分の若者向け雇用を創出

<基本目標②> 地方への新しいひとの流れをつくる

➢ 2020年に東京圏から地方への転出を4万人増、地方から東京圏への転入を6万人減少させ、東京圏から地方の転出入を均衡

<基本目標③> 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

➢ 2020年に結婚希望実績指標を80%、夫婦子ども数予定実績指標を95%に向上

<基本目標④> 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

➢ 「小さな拠点」の整備や「地域連携」を推進する。目標数値は、地方版総合戦略の状況を踏まえ設定。

## 2. 政策パッケージ

### ◎「しごとの創生」と「ひとの創生」の政策パッケージ ＜「しごと」と「ひと」の好循環づくり

#### (1) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

##### (ア) 地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備

- ◎地域特性や課題を抽出する「地域経済分析システム」の開発
- ◎地域の産官学金労が連携した総合戦略推進組織の整備
- ◎地域を支えるサービス事業主体の在り方の検討・制度整備

##### (イ) 地域産業の競争力強化（業種横断的取組）

- 対日直接投資残高を倍増（18兆円→35兆円）
- 2020年までの5年間の累計で若い世代の安定した雇用を約11万人創出 等
- ◎包括的創業支援
- ◎地域を担う中核企業支援
- ◎新事業・新産業と雇用を生み出す地域イノベーションの推進
- ◎外国企業の地方への対内直接投資の促進
- ◎産業・金融一体となった総合支援体制の整備
- ◎事業承継の円滑化、事業再生、経営改善支援等

##### (ウ) 地域産業の競争力強化（分野別取組）

- サービス産業の労働生産性の伸び率を3倍に拡大（0.8%→2.0%）
- 2020年までの5年間の累計で若い世代の安定した雇用を約19万人創出 等
- ◎サービス産業の活性化・付加価値向上
- ◎農林水産業の成長産業化
- ◎観光地域づくり、ローカル版クールジャパンの推進
- ◎地域の歴史・町並み・文化・芸術・スポーツ等による地域活性化
- ◎分散型エネルギーの推進

##### (エ) 地方への人材還流、地方での人材育成、地方の雇用対策

- 2020年までの5年間の累計で東京圏から地方へ約10万人の人材を還流 等
- ◎若者人材等の還流及び育成・定着支援
- ◎「プロフェッショナル人材」の地方還流
- ◎地域における女性の活躍推進
- ◎新規就農・就業者への総合的支援
- ◎大学・高等専門学校・専修学校等における地域ニーズに対応した人材育成支援
- ◎若者、高齢者、障害者が活躍できる社会の実現

##### (オ) ICT等の利活用による地域の活性化

- 雇用型在宅型テレワーカーを全労働者数の10%以上に増加 等
- ◎ICTの利活用による地域の活性化
- ◎異常気象や気象変動に関するデータの利活用の促進

## (2) 地方への新しいひとの流れをつくる

### (ア) 地方移住の推進

- 年間移住あっせん件数 11,000 件
- 「お試し居住」に取り組む市町村の数を倍増 等
- ◎ 地方移住希望者への支援体制
- ◎ 地方居住の本格推進
- ◎ 「日本版 CCRC」の検討
- ◎ 「地域おこし協力隊」と「田舎で働き隊」の統合拡充

### (イ) 企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大

- 企業の地方拠点強化の件数を 2020 年までの 5 年間で 7,500 件増加
- 地方拠点における雇用者数を 4 万人増加
- ◎ 企業の地方拠点強化等
- ◎ 政府関係機関の地方移転
- ◎ 遠隔勤務（サテライトオフィス、テレワークの促進）

### (ウ) 地方大学等の活性化

- 地方における自県大学進学者割合を平均 36%
- 新規学卒者の県内就職割合を平均 80% 等
- ◎ 知の拠点としての地方大学強化プラン
- ◎ 地元学生定着促進プラン
- ◎ 地域人材育成プラン

## (3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### (ア) 若い世代の経済的安定

- 若者（20～34 歳）の就業率を 78%に向上
- 若い世代の正規雇用労働者等の割合について、全ての世代と同水準 等
- ◎ 若者雇用対策の推進、「正社員実現加速プロジェクト」の推進
- ◎ 「少子化社会対策大綱」と連携した結婚・妊娠・出産・子育ての各段階に対応した総合的な少子化対策の推進

### (イ) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- 支援ニーズの高い妊産婦への支援実施の割合 100%
- ◎ 「子育て世代包括支援センター」の整備、周産期医療の確保等

### (ウ) 子ども・子育て支援の充実

- 2017 年度末までに待機児童解消
- 「放課後児童クラブ」と「放課後子供教室」について、全ての小学校区（約 2 万か所）で一体的に又は連携して実施（うち 1 万か所以上を一体型）
- ◎ 子ども・子育て支援の充実

### (エ) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現（「働き方改革」）

- 第 1 子出産前後の女性の継続就業率を 55%に向上
- 男性の育児休業取得率を 13%に向上 等
- ◎ 長時間労働の見直し、転勤の実態調査等



◎「まちの創生」の政策パッケージ

＜「しごと」と「ひと」の好循環を支える、「まち」の活性化＞

(4) 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(ア) 中山間地域等における「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成

➤ 「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成数(具体的数値は「地方版総合戦略」を踏まえ設定)

◎ 「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成

◎ 公立小・中学校の適正規模化、小規模校の活性化、休校した学校の再開支援

(イ) 地方都市における経済・生活圏の形成

➤ 立地適正化計画を作成する市町村数 150

➤ 地域公共交通網形成計画策定総数 100 件 等

◎ 都市のコンパクト化と周辺等の交通ネットワーク形成

◎ 地方都市の拠点となる中心市街地等の活性化を強力に後押しする包括的政策パッケージの策定

(ウ) 大都市圏における安心な暮らしの確保

➤ UR 団地の福祉拠点化(大都市圏の概ね 1,000 戸以上の UR 団地約 200 団地のうち、100 団地程度で拠点を形成)

➤ 高齢者施設、障害者施設、子育て支援施設等を併設している 100 戸以上の規模の公的賃貸住宅団地の割合 25% 等

◎ 大都市圏における医療・介護問題への対応

◎ 大都市近郊の公的賃貸住宅団地の再生、福祉拠点化

(エ) 人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化

➤ 民間提案を活かした PPP の事業規模を 2022 年までに 2 兆円

➤ 住宅の中古市場の流通・リフォーム市場の規模 20 兆円

◎ 公共施設・公的不動産の利活用についての民間活力の活用、空き家対策の推進

◎ インフラの戦略的な維持管理・更新等の推進

(オ) 地域連携による経済・生活圏の形成

➤ 定住自立圏の協定締結等圏域数 140

◎ 「連携中枢都市圏」の形成

◎ 定住自立圏の形成の促進

(カ) 住民が地域防災の担い手となる環境の確保

➤ 消防団の団員数の維持

➤ 全都道府県の Lアラートの導入

◎ 消防団等の充実強化・ICT 利活用による、住民主体の地域防災の充実

(キ) ふるさとづくりの推進

➤ ふるさとづくり推進組織の数 1 万団体

◎ 「ふるさと」に対する誇りを高める施策の推進

#### IV. 国家戦略特区・社会保障制度・税制・地方財政等

##### (ア) 国家戦略特区制度との連携

- ◎国家戦略特区法改正法案の提出
- ◎「地方創生特区」の指定

##### (イ) 社会保障制度

- ◎子ども・子育て支援新制度の円滑な施行
- ◎医療保険制度改革
- ◎地域医療構想の策定
- ◎地域包括ケアシステムの構築

##### (ウ) 税制

- ◎地域間の税源の偏在是正等の地方法人課税改革の推進、ふるさと納税の拡充
- ◎地方創生に資する国家戦略特区における特例
- ◎地方における企業拠点の強化の促進
- ◎外国人旅行者向け消費税免税制度の拡充
- ◎子、孫の結婚・妊娠・出産・子育てを支援

##### (エ) 地方財政

- ◎地方公共団体が自主性・主体性を最大限発揮できるようにするための地方財政措置

##### (オ) その他の財政的支援の仕組み（新型交付金）

- ◎地方公共団体が適切な効果検証の仕組みを伴いつつ自主性・主体性を最大限に発揮できるようにするための財政的支援

##### (カ) 地方分権

- ◎創意工夫により魅力あふれる地域をつくる地方分権改革の推進

##### (キ) 規制改革

- ◎「空きキャパシティ」の再生・利用
- ◎地域における道路空間の有効活用の促進
- ◎地方版規制改革会議の設置

# 地方人口ビジョン・地方版総合戦略の策定に 当たつての参考資料

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局



# ① 地方版総合戦略におけるPDCAサイクルの基本的考え方

## (1) 実施方法

PDCAサイクルを通じて、地方版総合戦略について、客観的な効果検証を実施する。

- ・ Plan：数値目標・客観的な指標を設定した効果的な地方版総合戦略を策定する。
- ・ Do：地方版総合戦略に基づく施策を実施する。
- ・ Check：数値目標や客観的な指標の達成度を通じて、地方版総合戦略の成果を客観的に検証する。
- ・ Action：検証結果を踏まえて施策を見直すとともに、必要に応じて、地方版総合戦略を改訂する。

## (2) 数値目標・客観的な指標の設定方法

### ① 基本目標

実現すべき成果（アウトカム）に係る数値目標（※）を設定する。

仮に、実現すべき成果（アウトカム）について定性的な目標を定める場合には、客観的な指標を設定し、後年度、基本目標の実施状況を検証する。

※行政活動そのものの結果に係る数値目標（例：行政が実施する企業立地説明会の開催回数、移住に関するパンフレットの配布枚数）ではなく、その結果として国民にもたらされた便益に係る数値目標（例：雇用創出数：●●人、転入者数：●●人増加）をいう。

例) 地方への新しい人の流れをつくる

数値目標を設定する場合・・・転入者数 5年間で●●人

定性的な目標を設定する場合・・・転入者数について、毎年度増加を目指す。

→ 客観的な指標として「転入者数」を設定の上、毎年度、その数値を確認し、平成26年度の●●人よりも増加したかどうか検証する。

### ② 具体的な施策

施策ごとに、客観的な重要業績評価指標（KPI）（※）を設定する。

KPIは、原則として実現すべき成果（アウトカム）に係る指標を設定するが、行政活動そのものの結果に係る指標を設定することも差し支えない。

※KPI(Key Performance Indicator)。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

## 地方版総合戦略におけるPDCAサイクルの基本的考え方②

### (3) 検証

- ① できる限り、外部有識者等を含む検証機関を設置する。
- ② 検証機関は、基本目標の数値目標及び具体的な施策に係るKPIの達成度を検証する。
- ③ 検証機関は、必要に応じ、住民の意見聴取等を行い、また、総合戦略の見直しの提言を行う。

### (4) 議会による関与

地方議会においては、総合戦略の策定段階や効果検証の段階において、十分な審議を行うことが重要である。

### (5) 地方版総合戦略の改訂

検証機関による検証に加え、議会における施策の効果等についての審議等も踏まえ、必要に応じ、総合戦略の改訂を行う。

### (6) PDCAサイクルの期間

例えば、1年間（毎年、地方版総合戦略の見直し作業を実施）等の一定の期間を設定する。

# 地方人口ビジョンの策定イメージ

- 国の「長期ビジョン」を勘案しつつ、人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示。
- 対象期間は長期ビジョンの期間（2060年）を基本。（地域の実情に応じた期間の設定も可）

## 1. 人口の現状分析

### ア 人口動向分析

（総人口や年齢3区分別人口、出生数、死亡数、転入数、転出数等の時系列の状況を分析）

### イ 将来人口の推計と分析

（出生率や移動率などについて仮定値を変えた総人口推計の比較や将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析）

### ウ 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察



## 2. 人口の将来展望

### ア 将来展望に必要な調査・分析

（住民の結婚・出産・子育てや移住に関する意識・希望等）

### イ 目指すべき将来の方向

（目指すべき将来の方向性や住民の希望を実現するための基本的な施策の方向性）



### ウ 人口の将来展望

自然増減

（希望出生率などに基づく出生率等）



社会増減

（移住希望などに基づく移動率等）



総人口や年齢3区分別人口等の将来を展望

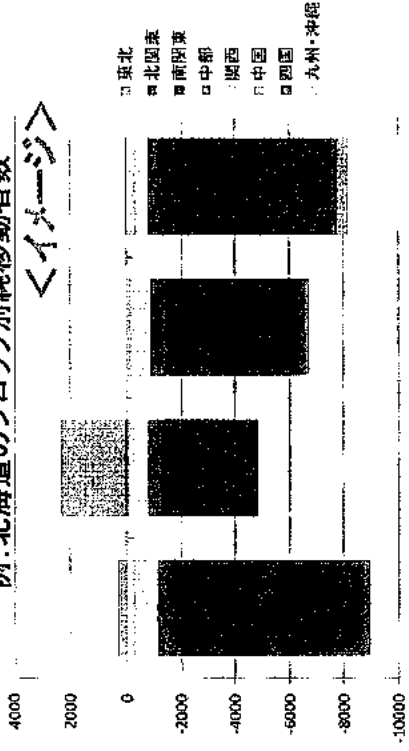
# 人口の現状分析のイメージ

## 人口動向分析

- 総人口や年齢3区分別人口、出生数、死亡数、転入数、転出数等の時系列の状況を分析
- 性別・年齢階級別の地域間の人口移動の状況を分析  
(例：●歳の▲県への転出超過が大きいことが社会減に大きな影響を及ぼしている)
- 産業別の就業状況や雇用状況など人口動向に関連する事項についての分析

例：北海道のブロック別純移動者数

### <イメージ>



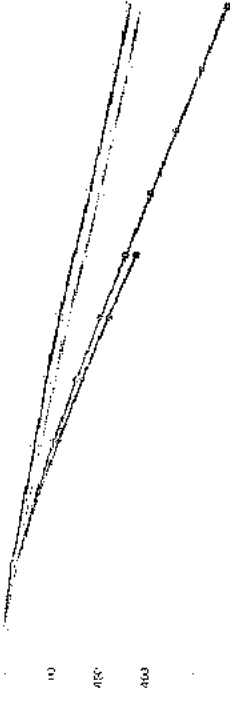
南関東(1都3県)への転出の割合が高い。

## 将来人口の推計と分析

- 出生率や移動率などについて仮定値を変えた総人口推計の比較  
(例：出生率の上昇及び人口移動の均衡により●年後の総人口は●万人程度を維持する)
- 将来人口に及ぼす自然増減、社会増減の影響度の分析

例：北海道のパターン別将来人口推計

### <イメージ>



出生率の上昇及び人口移動の均衡により、将来の総人口の減少幅が縮小する。

## 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

- 現状の傾向のまま人口が推移した場合の、将来の地域住民の生活や地域経済、地方行政に与える影響について分析又は考察  
(例：民間利便施設の立地、公共施設の維持管理等への影響、生産年齢人口の減少による地方財政への影響等)



# 人口の将来展望のイメージ

## 将来展望に必要な調査分析

- 住民の結婚・出産等に関する意識や希望
- 地方移住の現状や希望
- 大学等卒業後の地元就職の現状や希望
- 圏域単位の地域連携

## 目指すべき将来の方向

- 人口減少克服に向けた現状と課題を整理し、人口に関して目指すべき将来の方向を提示

## 人口の将来展望

- 将来展望の期間は長期ビジョンの期間（2060年）を基本  
※国立社会保障・人口問題研究所の推計期間である2040年等、地域の実情に応じた期間の設定も可。

<イメージ>

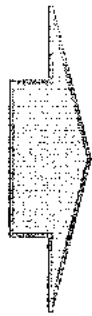
### 自然増減

(希望出生率などに基づく出生率等)



### 社会増減

(移住希望などに基づく移動率等)



## 人口の将来を展望する

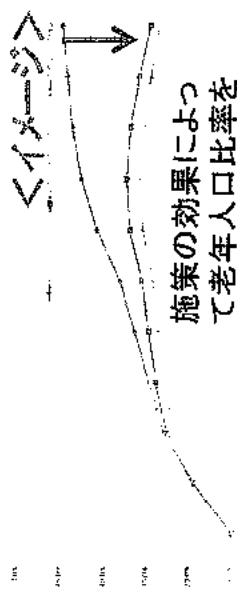
- 総人口や年齢3区分別人口等の将来展望を行う  
※展望期間終期及び総合戦略の設定年度である2020年を含む  
途中年次の結果を記載

施策の効果によって人口の減少が抑えられる



<イメージ>

施策の効果によって老年人口比率を抑えられる



# 地方版総合戦略において記載する事項の参考例①

※ 基本目標や重要業績評価指標 (KPI) の参考例は、国の総合戦略における基本目標・重要業績評価指標のほか、地方公共団体が総合計画等において使用している実例も含め、参考として記載しているもの。以下同じ。

## 1. 地方における安定した雇用を創出する

### (1) 基本目標【参考例】

雇用創出数：5年間で●●人 就業者数：5年間で●●人

### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向【参考例】

- 地域の産業構造や自然環境等を分析した上で、農業や観光業など、雇用機会の確保や創出につながる地域の特性を生かした産業政策に取り組み
- 多様な知識や経験を有する人材の大都市圏からの環流や、潜在的な労働供給力の活用も含めた地元の人材の育成・定着などを通じて、地域産業を支える人材の確保を図る 等

### (3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標【参考例】

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	成長分野において中核企業となり得る企業に対する集中的な支援（経営戦略策定、商品開発、販路拡大等への支援）	支援によって中核企業化した企業数：●●社
地域産業の競争力強化 (業種横断的取組)	認定した新規創業者に対する経営アドバイスや融資等の支援	支援件数：●●件
	創業者の資金調達の円滑化（無担保・無保証人の融資）	新規融資件数：●●件
	ニッチトップ企業に対する支援（連携先の紹介、研究開発・事業化への助言等）	支援対象企業数：●●社
地域産業の競争力強化 (分野別取組)	海外でのプロモーション活動等の強化	外国企業の誘致件数：●●件
	人材育成・IT化・物流の効率化の推進等を通じたサービス産業の生産性向上	第3次産業の就業者1人当たりの総生産額：●●円
	農作物の新たなブランドの育成・認証とPRの推進	農業産出額：●●円

# 地方版総合戦略において記載する事項の参考例①（続き）

## (3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標【参考例】（続き）

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
地域産業の競争力強化 (分野別取組) (続き)	6次産業化の取組の推進	6次産業化の取組事例数：●●件
	観光振興策の実施	観光消費額：●●円 観光入込客数：●●人 外国人旅行者宿泊者数：●●人
地方への人材還流、地方での人材育成、地方の雇用対策	事業への出資等を通じた太陽光発電の導入促進	大規模太陽光発電の導入量：●●kW
	情報提供の強化や求人開拓活動の拡大等を通じた、県外からの人材確保機能の強化	県外から転入して就職した者の数：●●人
	産学官コーディネーターによる企業と大学のマッチング支援等	新規に産学官連携による共同研究に参画した企業数：●●社
	子育て中の女性に対する就職相談・求人情報提供等を通じた、きめ細かな就職支援の実施	女性の就業率：●●%
	農用地の有効利用と流動化促進等による農業の担い手の確保・育成	新規就農者数：●●人
	産業界と連携したキャリア教育の実施	専門学校における長期インターンシップの実施学科の割合：●●%
	高齢者の就労支援や技能の活用	高齢者就業支援センターの利用者数：●●人
	通信事業者、放送事業者等と連携した地域情報化基盤の整備	ブロードバンドのカバー率：●●%
	ICT等の利活用による地域の活性化	中小企業の電子商取引の実施率：●●%

## 2 地方版総合戦略において記載する事項の参考例②

### 2 地方への新しいひとの流れをつくる

#### (1) 基本目標【参考例】

転入者数：5年間で●●人増加

転出者数：5年間で●●人減少

#### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向【参考例】

- 移住希望者の視点に立ち、雇用や住まい、教育等の移住の受け皿に関する総合的な環境整備を行うとともに、全国移住促進センター（仮称）の活用などを通じて、移住希望者向けの情報提供に取り組む
- 地方においては、若者の大学進学時や就職時に東京圏への転出が多数に及んでいることから、地方大学等の活性化、企業等における地方採用・就労の拡大に取り組む 等

#### (3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標【参考例】

具体的な施策		重要業績評価指標（KPI）
移住・交流の専門相談員の配置	移住・交流の専門相談員の配置	相談件数：●●件以上
	過疎地域における若年者の雇用確保・定住促進	若者の定住率（25～34歳人口を20年前の5～14歳人口で除した値）：●●%
地方移住の推進	空き家バンク等住宅情報の提供体制整備	体制が整備された市町村数：●●市町村
	お試し滞在住宅等の移住者支援住宅の整備促進	支援住宅のある市町村数：●●市町村
	観光の活性化等を通じた交流人口の増加	交流人口：●●人
	ビジネス環境の整備や人を集める魅力づくりを通じた、成長分野の企業や本社機能の立地の促進	進出企業数：●●社 新規雇用者数：●●人
企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大	Uターン希望者と県内企業のマッチング支援	マッチング支援を通じて県内企業が確保した県外人材の人数：●●人
	サテライトオフィス、テレワーク環境の整備の推進	テレワーク導入企業数：●●社

地方版総合戦略において記載する事項の参考例②（続き）

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標【参考例】（続き）

	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）
地方大学等の活性化	地元大学等への進学促進	自県大学進学者の割合：●●％ 県内高等教育機関の志願倍率： ●●倍以上
	合同企業説明会・就職面接会の開催、企業情報の提供等を通じた新規高卒者の就職支援	県内高校卒業者の地元就職率： ●●％
	県内就職を促進するための求人確保とマッチング機会の提供	県内大学生等の県内就職率： ●●％
	産学共同研究の推進	産学共同研究等支援事業採択件数：●●件

# 地方版総合戦略において記載する事項の参考例③

## 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかかえる

### (1) 基本目標【参考例】

出生数：5年間で●●人

合計特殊出生率：5年後に●●

婚姻数：5年間で●●件

### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向【参考例】

- 若者が希望どおり結婚し、子どもが持てるよう、若い世代の経済的安定を図る
- 子育て世代包括支援センターの整備や周産期医療の確保などを通じて、妊娠・出産・子育てについて、切れ目のない支援を行う
- サービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、子ども・子育て支援の充実を図る
- 育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図る 等

### (3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標【参考例】

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
若い世代の経済的安定	若者に対する職業相談、情報提供、合同企業説明会・セミナー、職業紹介等の実施	若者 (20～34歳) の就業率：●●%
	若者に対する職業能力開発支援	若い世代 (15～34歳) の正規雇用労働者等 (自らの希望による非正規雇用労働者等を含む。) の割合：2020年までに全ての世代と同水準
	結婚支援を行う人材の相談対応力を高めるための研修の実施	研修受講者の満足度：●●%
妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	子育て世代包括支援センター等による妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の実施	支援二一ズの高い妊産婦全員への支援の実施
	周産期医療体制の強化	周産期死亡率：2013年度より低下
	小児医療の充実	平日夜間・休日昼夜に診療を行う小児医療機関数：●●箇所

### 地方版総合戦略において記載する事項の参考例③（続き）

#### (3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標【参考例】（続き）

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
子ども・子育て支援の充実	待機児童の解消	待機児童ゼロを継続
	放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実	放課後児童クラブ数：●●クラブ 放課後子ども教室数：●●教室
	三世代同居・近居のための住宅取得や転居等の費用に対する助成	放課後児童クラブ・放課後子ども教室の一体型サービスを実施する箇所数：●●箇所
	多子世帯についての保育料軽減	助成件数：●●件
	多子世帯の経済的負担の軽減（協賛店舗における代金割引等）	保育料軽減を実施する市町村数：●●市町村
	子育て世帯向けの優良賃貸住宅の供給	多子世帯支援の協賛店舗：●●店舗
	ワーク・ライフ・バランスの優良企業の認定・PRを通じて、企業における仕事と家庭の両立支援を促進	住宅数：●●戸
	経営者・管理者等に対するセミナーの実施や専門コンサルタント派遣を通じた、ワーク・ライフ・バランスの具体的な取組の周知	男性の育児休業取得率：●●% 認定優良企業数：●●社以上
		年次有給休暇取得率：●●%

## 4 時代に合った地域づくり、安心な暮らしをするとともに、地域と地域を連携する

### 4. 時代に合わせて地域づくり、安心な暮らしをするとともに、地域と地域を連携する

#### (1) 基本目標【参考例】

「小さな拠点」の形成数：●●箇所 定住自立圏を●●圏域とする（2014年：●●圏域）（県の場合）

#### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向【参考例】

- 「小さな拠点」づくりやコンパクトシティの推進など、地域の実情に応じたまちづくりを推進する
- 人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化や地域のサービス提供機能の維持を図る
- 連携中枢都市圏や定住自立圏など、地域の実情に応じた地域間連携施策を推進する 等

#### (3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標【参考例】

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
中山間地域等における「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成	「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成	小さな拠点の形成数：●●箇所
	中山間地域における買い物物をしやすい環境づくりの推進 地域公共交通の利用促進	中山間地域において日常の買い物に不便を感じている集落の割合：●●%以下 公共交通(路線バス)の利用者数：●●人
地方都市における経済・生活圏の形成	都市のコンパクト化と、公共交通網の再構築をはじめとする周辺等のネットワーク形成	●●年度までに立地適正化計画を策定 ●●年度までに地域公共交通網形成計画を策定
	中心市街地の活性化(魅力発信、仕組みづくり、商店後継者の育成支援等)	中心商店街における通行量：●●人 空き店舗数：●●店以下
		人口集中地区の人口：●●人



# 地方版総合戦略において記載する事項の参考例④ (続き)

## (3) 具体的な施策・重要業績評価指標【参考例】(続き)

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
地方都市における経済・生活圏の形成 (続き)	空き店舗等を活用した新たな福祉拠点 (居場所) の整備	拠点数：●●箇所
大都市圏における安心な暮らしの確保	在宅医療の充実	在宅療養支援診療所数：●●箇所
	重度介護者等の在宅生活を支援するための定期巡回・随時対応型サービス整備	サービス付き高齢者向け住宅の登録戸数：●●戸
人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化	公的賃貸住宅団地の福祉拠点化	福祉拠点の数：●●箇所
	空き家の利活用の推進	空き家の利活用件数：●●件以上
	公共施設のバリアフリー化の推進	公共施設のバリアフリー化の割合：●●%
地域連携による経済・生活圏の形成	定住自立圏の形成促進	【県の場合】定住自立圏の数：●●圏域 【市町村の場合】周辺市町村と連携し、●●年度までに定住自立圏を形成・参加
	連携中枢都市圏の形成促進	【県の場合】連携中枢都市圏の数：●●圏域 【市町村の場合】周辺市町村と連携し、●●年度までに連携中枢都市圏を形成・参加
住民が地域防災の担い手となる環境の確保	他の地方公共団体と連携した施策の実施	連携数：●●件
	消防団や自主防災組織の充実強化	消防団員数：●●人
ふるさとづくりの推進	「ふるさと」に対する誇りを高めるための組織づくり等の推進	ふるさとづくり推進組織の数：●●団体







# 幕別町の人口動向分析

資料3

## 【分析の目的】

- ① 幕別町における過去の住民基本台帳から、コーホート（同時出生集団）・出生数・死亡数・転入出数等の各カテゴリー別の人口動向を3地区（幕別・札内・忠類）ごとで把握する。
- ② 幕別町と周辺地域との人口移動とその背景となった産業別の就業状況、雇用状況などを把握し、人口動向の自然増減及び社会増減の背景を考察する。

- ア 総人口の推移
- イ 年齢3区分別人口の推移
- ウ 出生率、死亡数、転入数及び転出数の推移
- エ 総人口の推移に与えてきた自然増減及び社会増減の影響
- オ 地域別の人口移動の状況
- カ 他の市町村との人口移動の状況

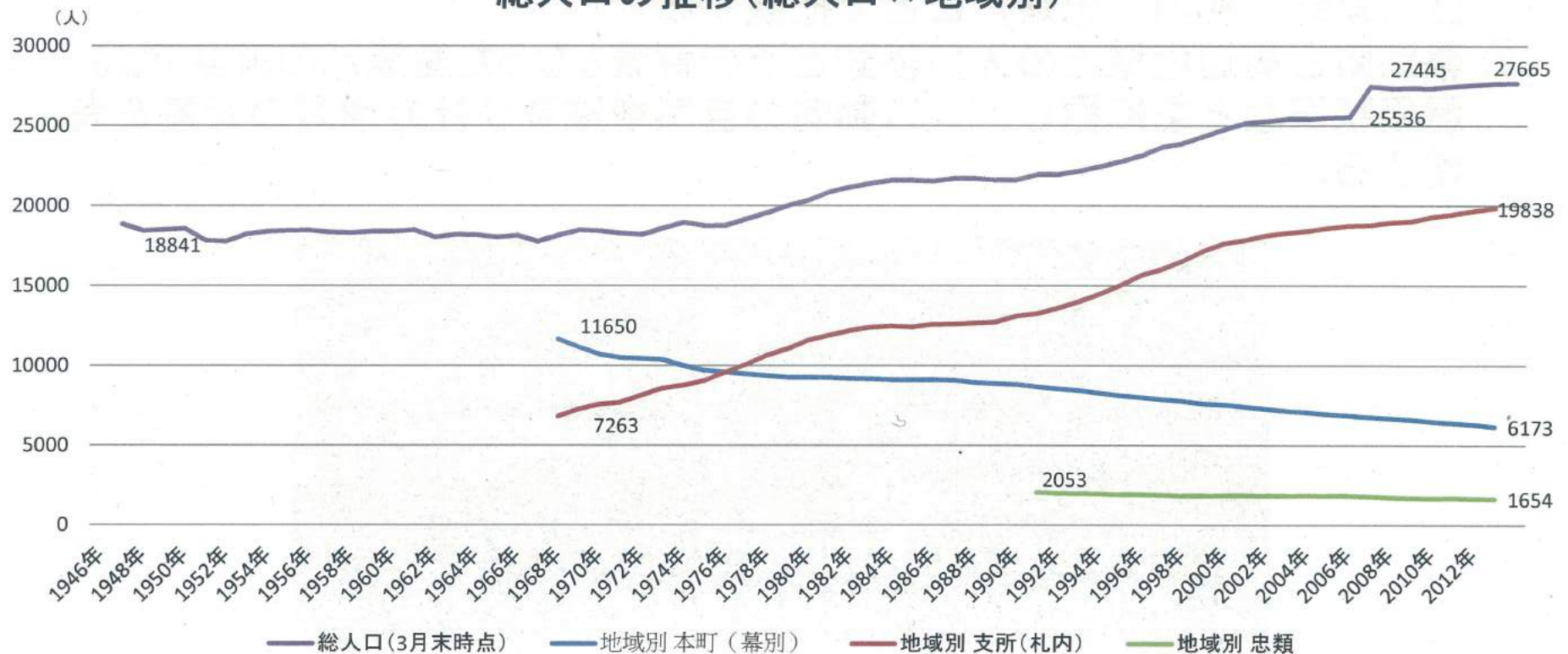
# (1)人口動向分析

## ア 総人口の推移 (町全体及び地域別)

動向分析:

札内地区は、90年代から2000年にかけて200人～600人/年の増加を示し、2000年以降から現在までは、ゆるやかな増加傾向にある。幕別地区は、90年代後半からゆるやかな減少傾向にある。忠類地区(旧忠類村含む)は、横ばい傾向。

### 総人口の推移(総人口×地域別)



※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。

※2 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を総人口に積算した。(合併日:2006年2月6日)

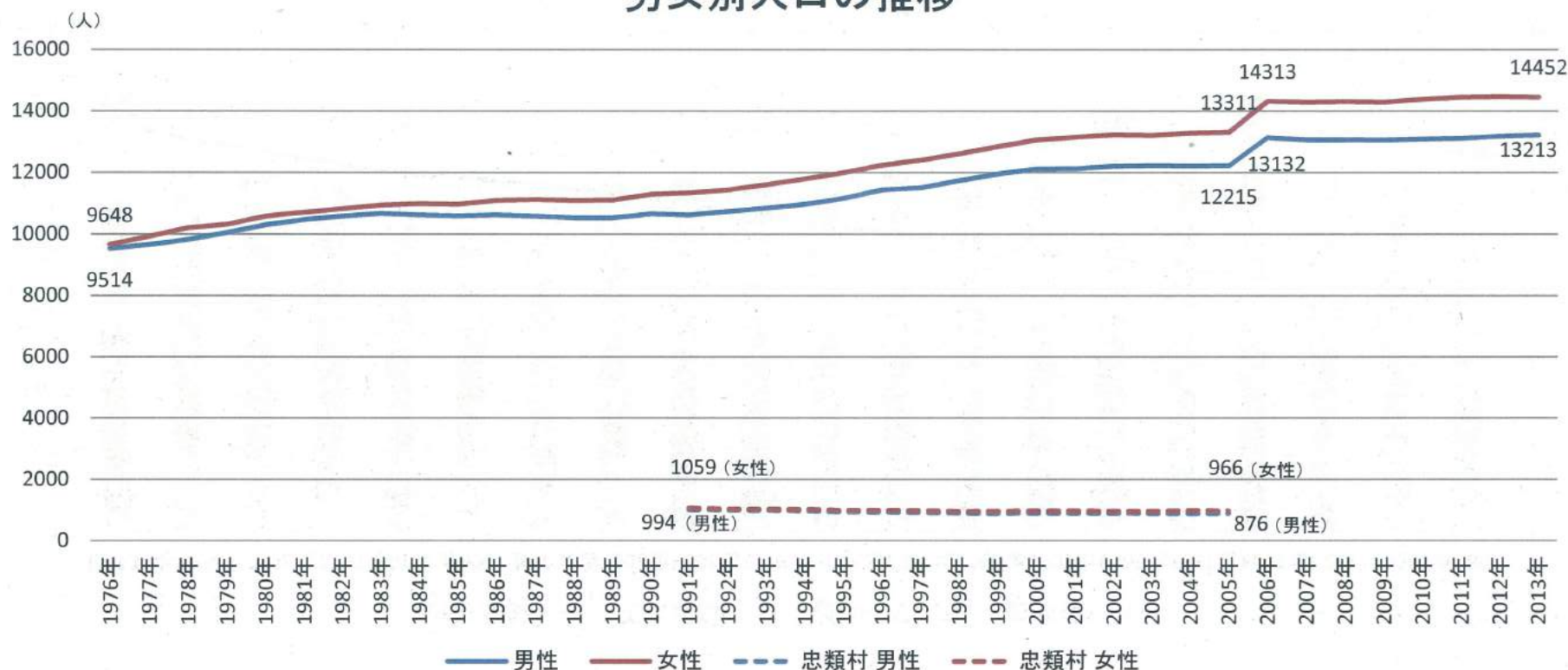
# (1)人口動向分析

## ア 総人口の推移 (男女別)

動向分析:

全年度において女性の人口比は男性の人口比を上回っているが(旧忠類村除く)、80年代後半から男女の人口の差が徐々に拡大していった。2000年台にはじめてその差は、1000人を上回った。特に、ここ5年においては、1200人以上の差を示し、その差はさらに拡大している。

男女別人口の推移



※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。

※2 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を積算した。(合併日:2006年2月6日)

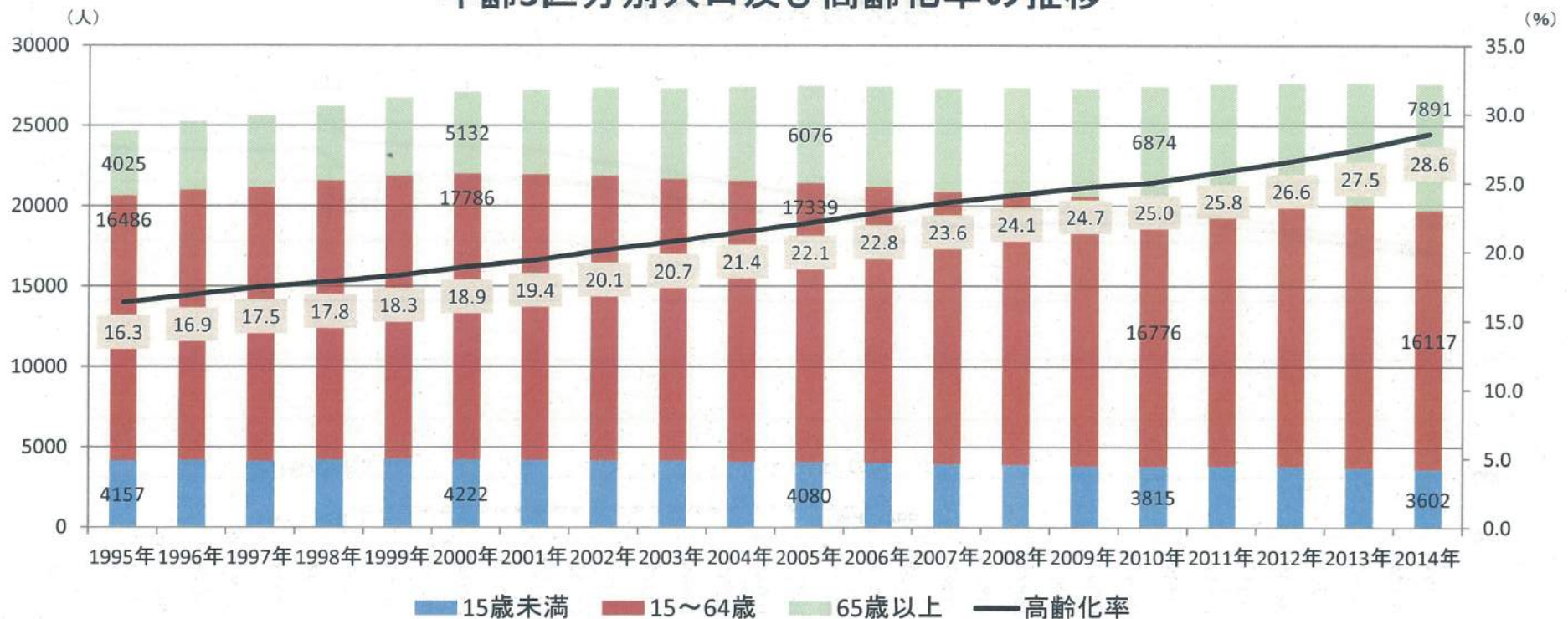
# (1)人口動向分析

## イ 年齢3区分別人口の推移（高齢化率との関係）

動向分析：

生産年齢人口（15～64歳）はほぼ横ばい傾向である。年少人口（0歳～15歳）は微減傾向、老年人口（65歳以上）は800人から1000人程度の増加傾向である。高齢化率は、年々増加している。

年齢3区分別人口及び高齢化率の推移



※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。  
 ※2 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を総人口に積算した。(合併日:2006年2月6日)  
 ※3 1997年は、現在作成中

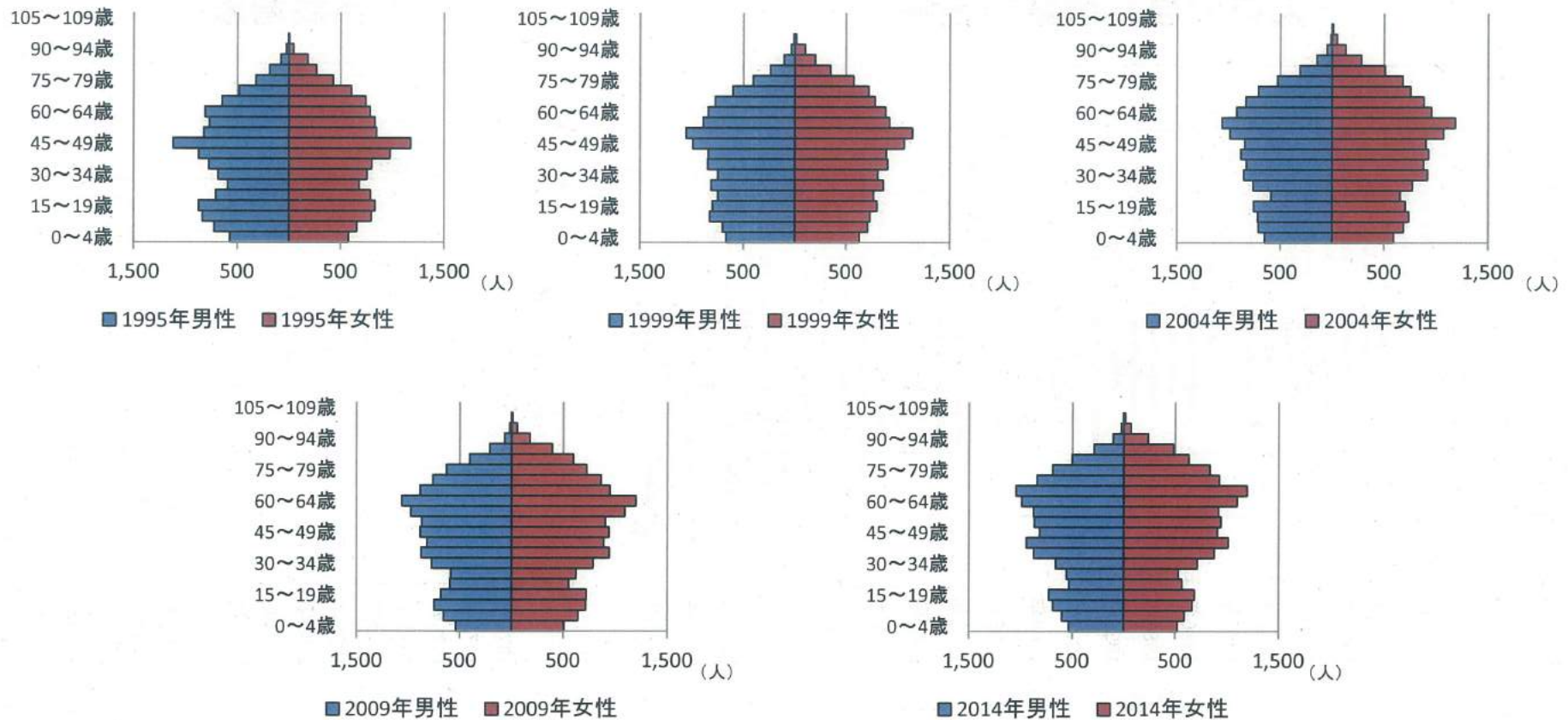


# (1)人口動向分析

## イ 年齢3区分別人口の推移（人口ピラミッド）

動向分析：

15歳～35歳の青年・壮年年代が減少傾向にある一方、老年人口が増加傾向にある。  
20年前に町内人口の主要部を占めていた40歳代層が、現在の人口の主要部にあたる。



※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。  
※2 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を総人口に積算した。(合併日:2006年2月6日)  
※3 1997年は、現在作成中

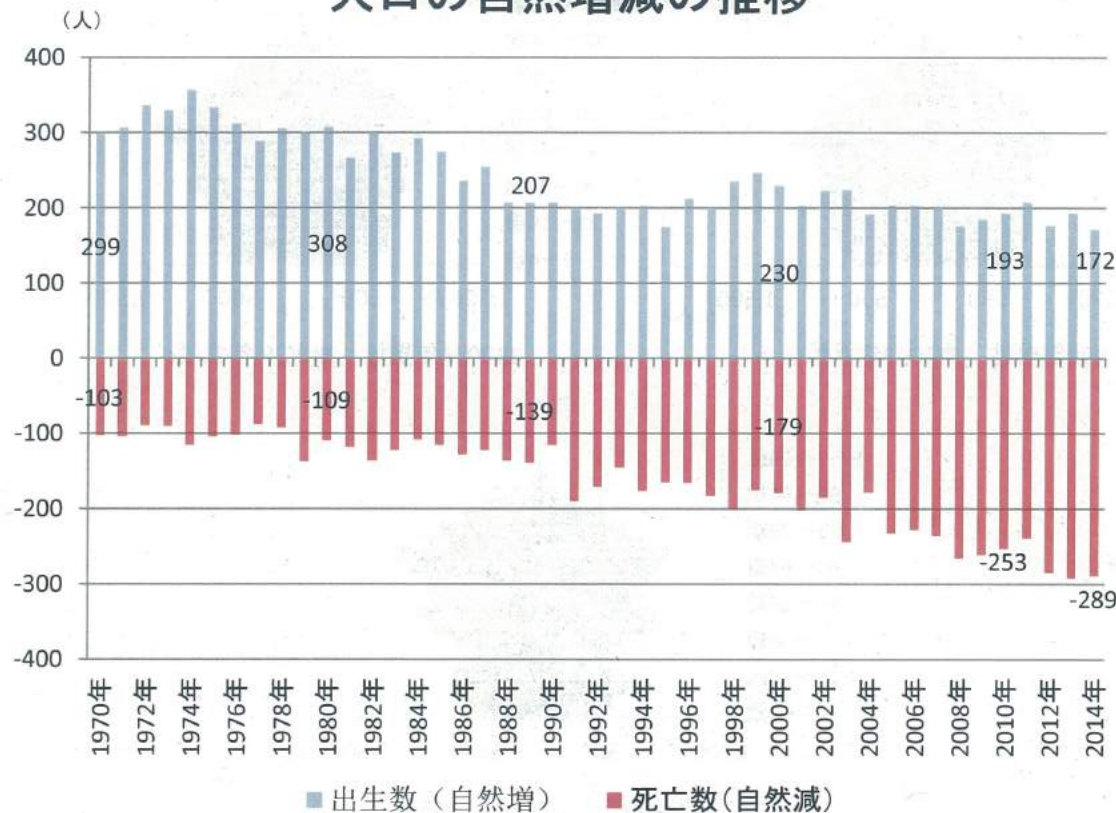
# (1)人口動向分析

## ウ 出生率、死亡数、転入数及び転出数の推移（自然増減）

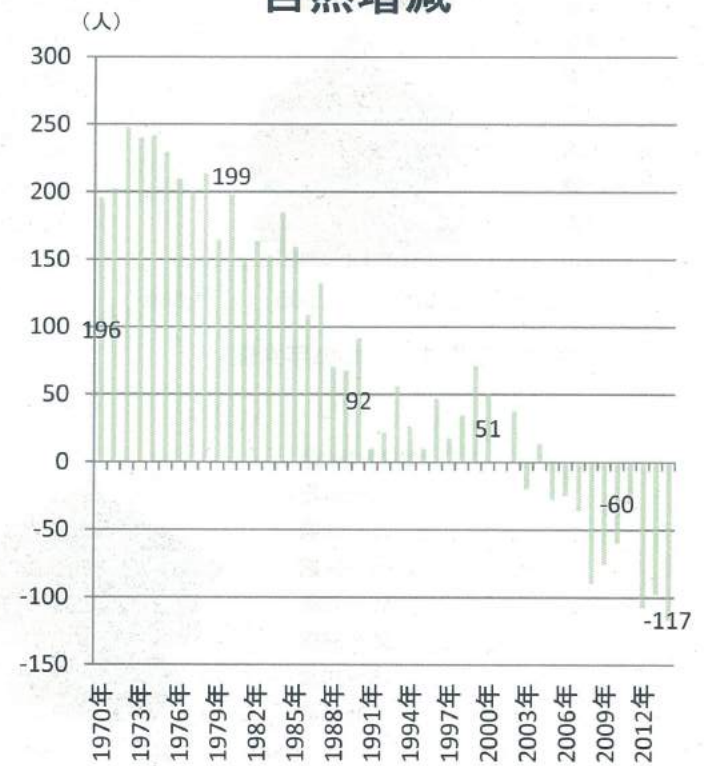
動向分析：

2000年代まで自然増が優勢ではあったが、70年台から1990年代にかけて徐々に出生数が減少した。2000年代後半においては、自然減が優勢の傾向を示す。

人口の自然増減の推移



自然増減



※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。  
 ※2 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の出生数・死亡数を積算した。(合併日:2006年2月6日)  
 ※3 台帳上「その他」は、除く。

# (1)人口動向分析

## ウ 出生率、死亡数、転入数及び転出数の推移（社会増減）

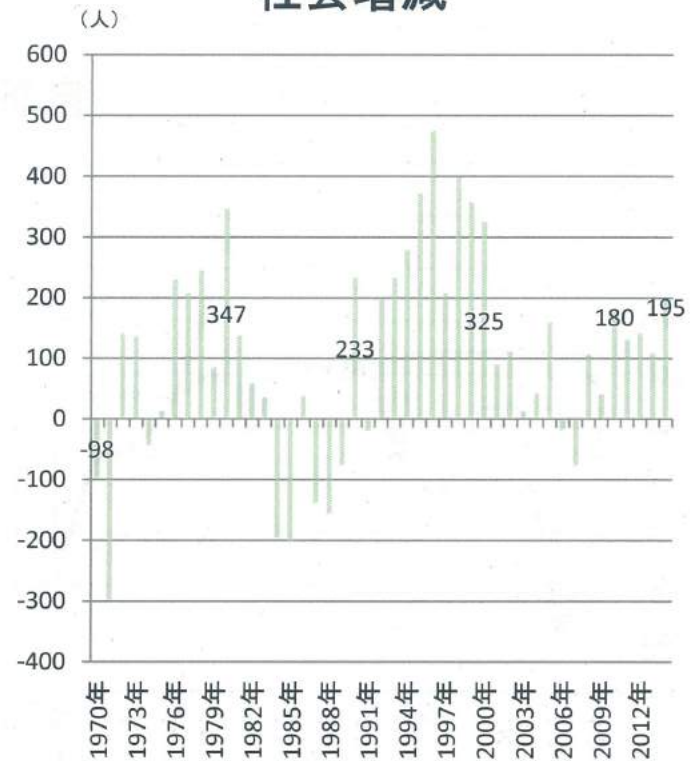
動向分析：

70年代前半及び80年代後半は、社会減が超過する傾向にあったが、90年代前半には急激な社会増があった。現在もなお、社会増が優勢の状況にある。

人口の社会増減の推移



社会増減



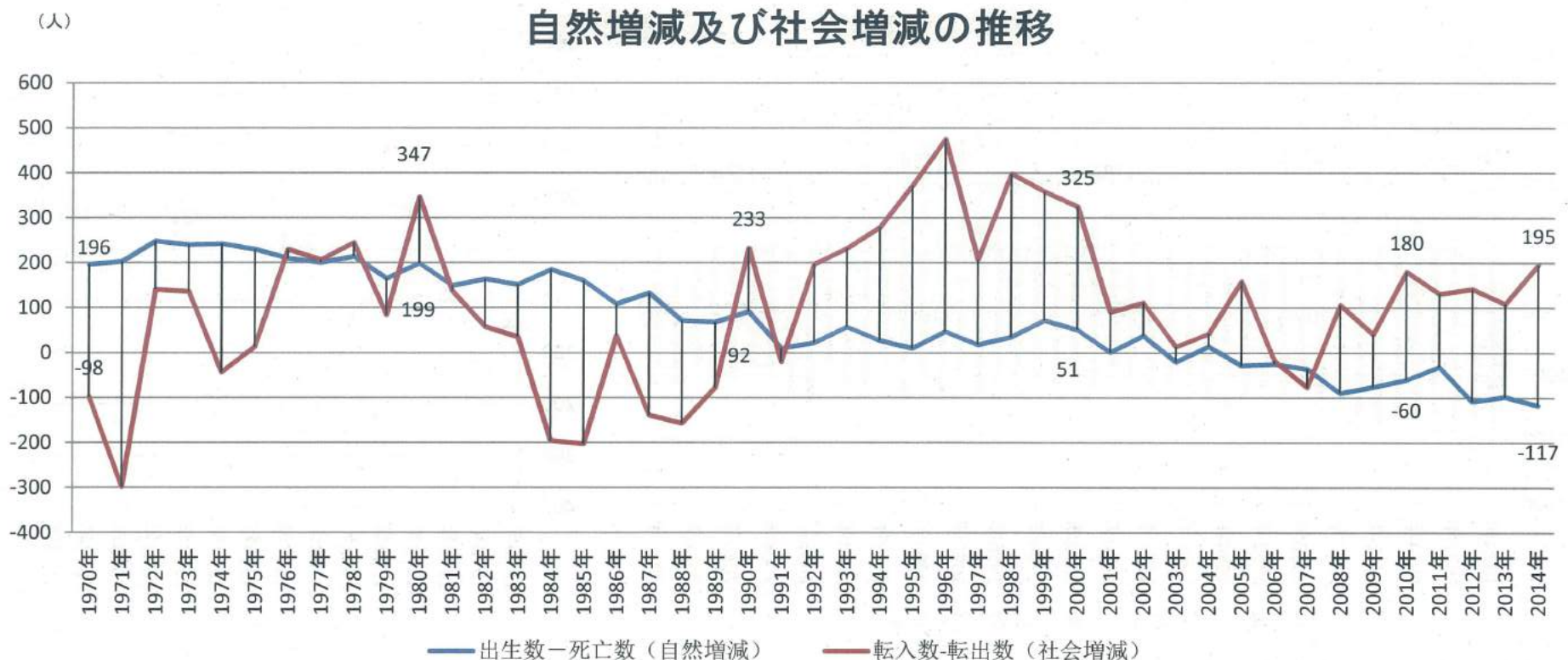
※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。  
 ※2 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の出生数・死亡数を積算した。(合併日:2006年2月6日)  
 ※3 台帳上「その他」は、除く。

# (1)人口動向分析

## Ⅰ 総人口の推移に与えてきた自然増減及び社会増減の影響

動向分析:

自然増減については、2000年代から自然減傾向である。一方、社会増減については、約10年おきに増減傾向が変動する。現在、200人程度の転入増であり、安定的な社会増を達成している。

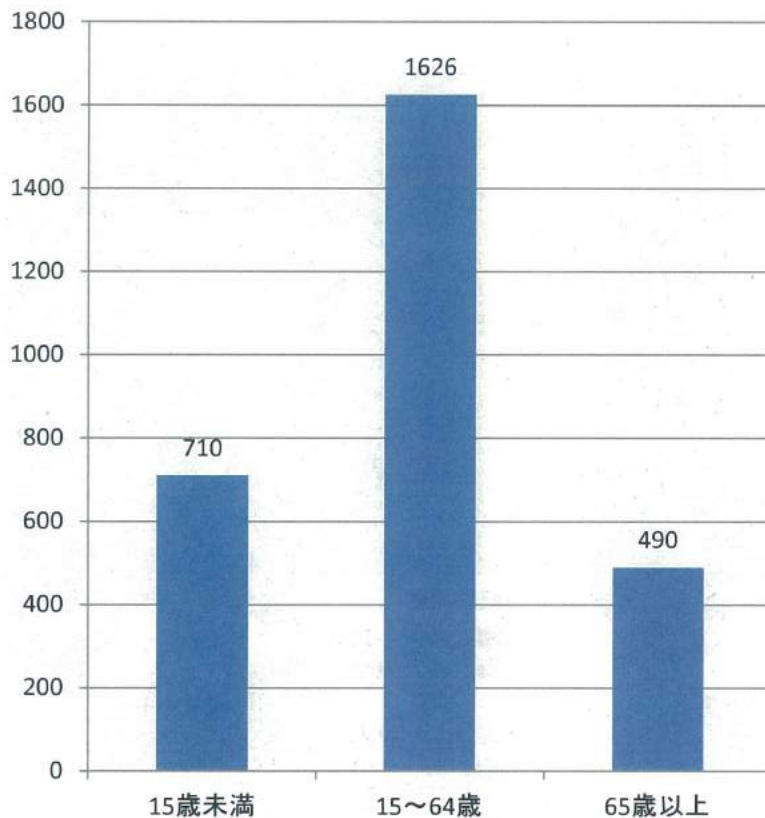


# (1)人口動向分析

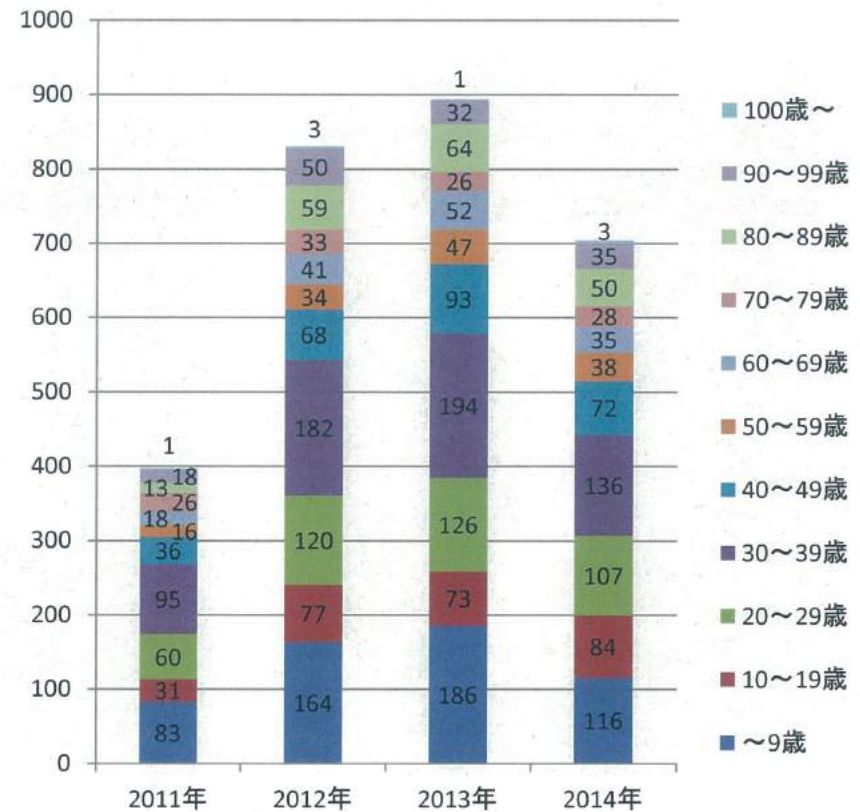
## 才 地域別の人口移動の状況（町内における移動の概況）

動向分析：

町内における移動は、15～64歳で最も多く確認できる。特に、30代・40代（それと同居していると思われる子世代）の移動が大半を占める。



3区分別転居数(4力年合計)



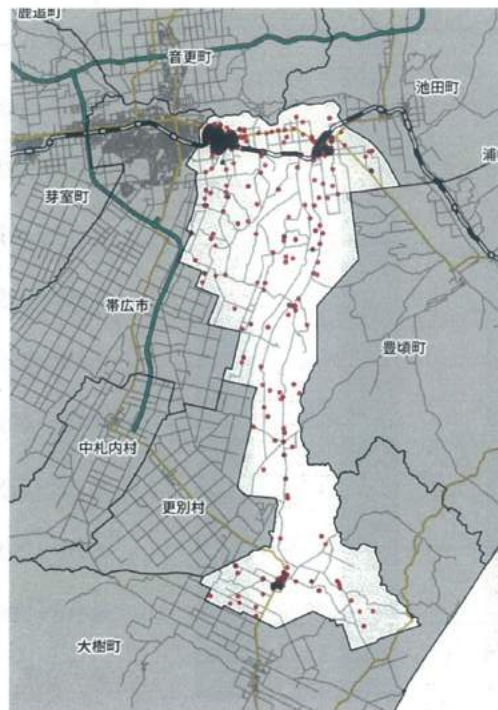
転居増減

# (1)人口動向分析

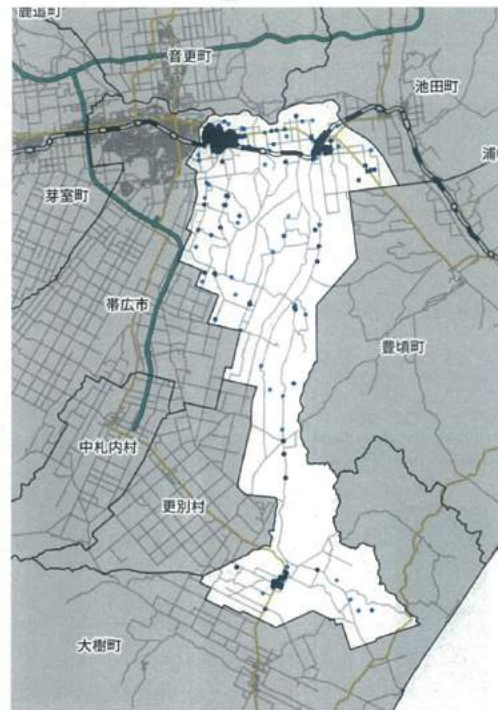
## 才 地域別の人口移動の状況（町内における移動先）

動向分析:

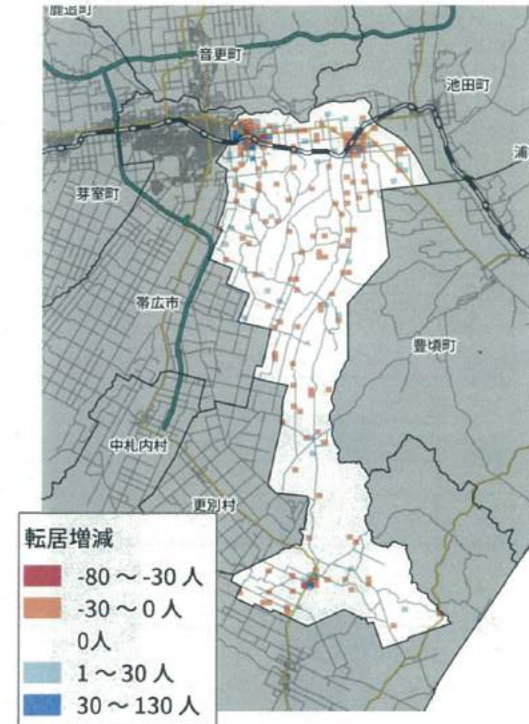
地域内の人口移動については、郊外から役場・支所周辺への転居が集中している。



転居元



転居先



転居増減

# (1)人口動向分析

## カ 他の市町村との人口移動の状況（全体の概況）

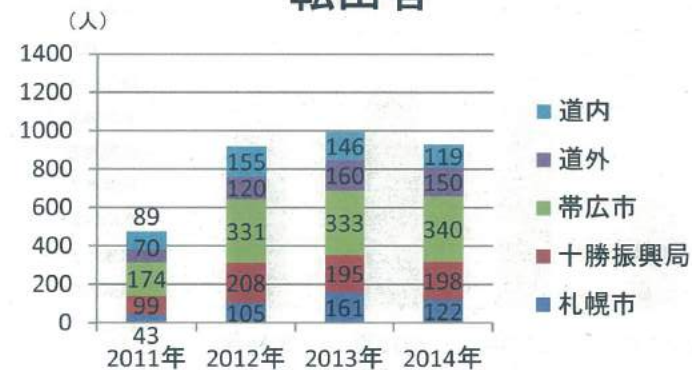
動向分析：

帯広市からの安定的な転入がある一方、転出もある。ただし、ここ4カ年では転入超過にある。また、札幌市への転出超過の傾向にある。

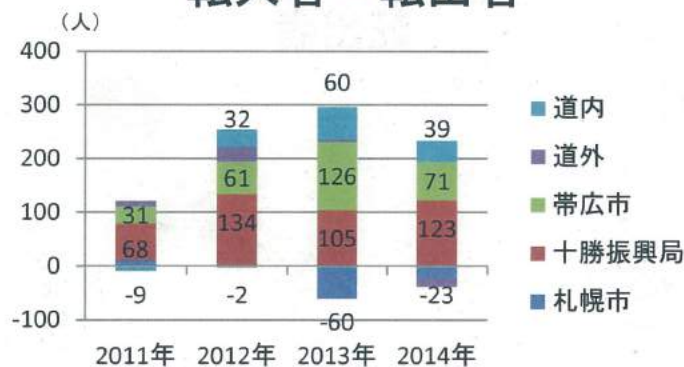
転入者



転出者



転入者－転出者



転入者



転出者



※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。  
 ※2 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を積算した。(合併日:2006年2月6日)  
 ※3 「十勝振興局」は、帯広市を除いている。  
 ※4 「道外」は、海外からの転出入数も含む。

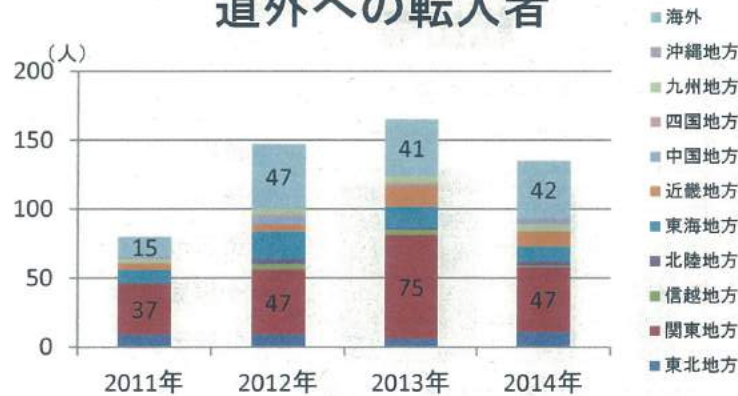
# (1)人口動向分析

## 力 他の市町村との人口移動の状況（道外との関係）

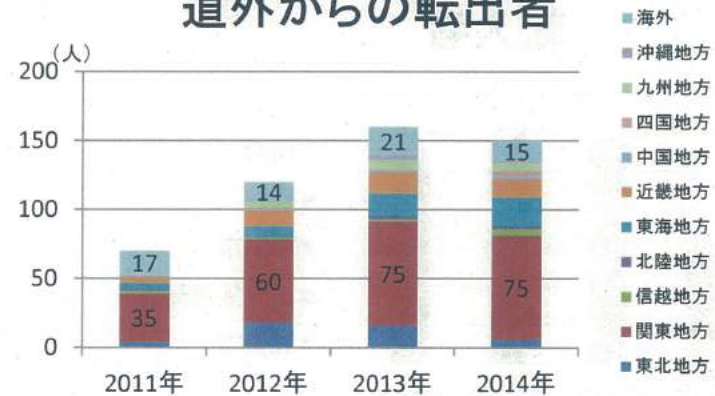
動向分析:

道外への転入者および転出者においては、関東地方からの転出入が目立つ上、転出が優勢である。一方、海外からの転入者は超過傾向にある。

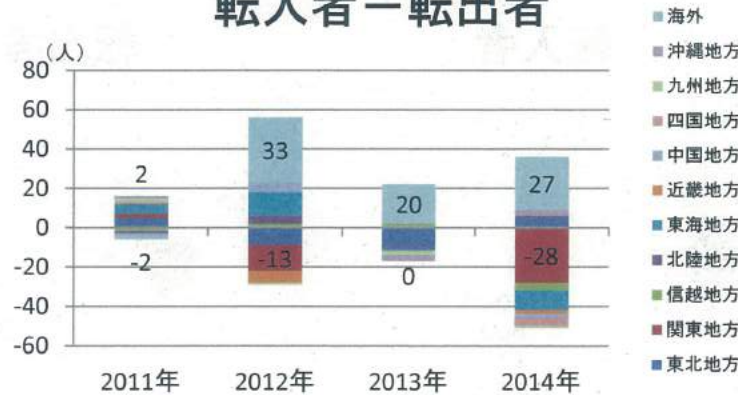
道外への転入者



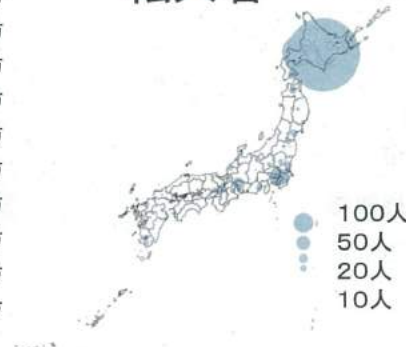
道外からの転出者



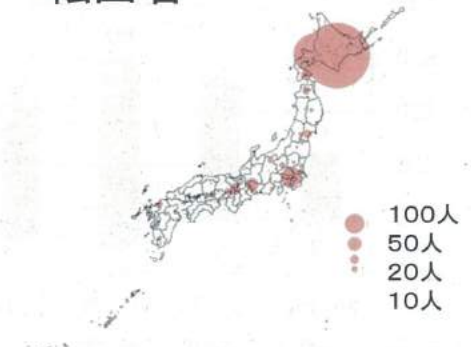
転入者－転出者



転入者



転出者



※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。  
 ※2 地図におけるサークルの中心は、各自治体の都府県所在地とした。

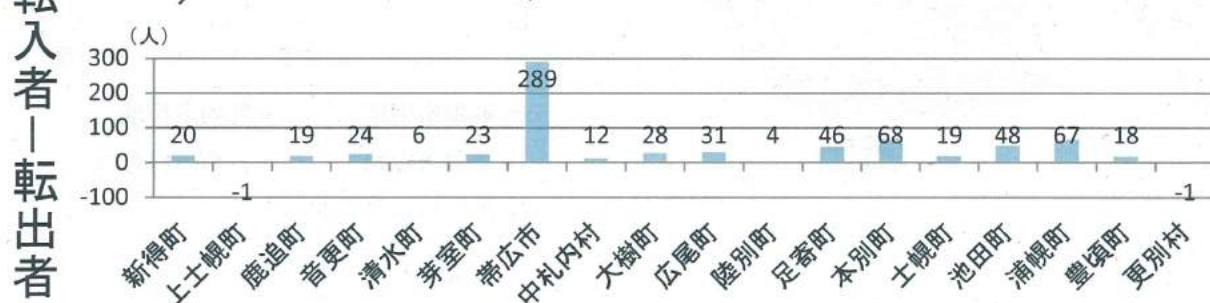
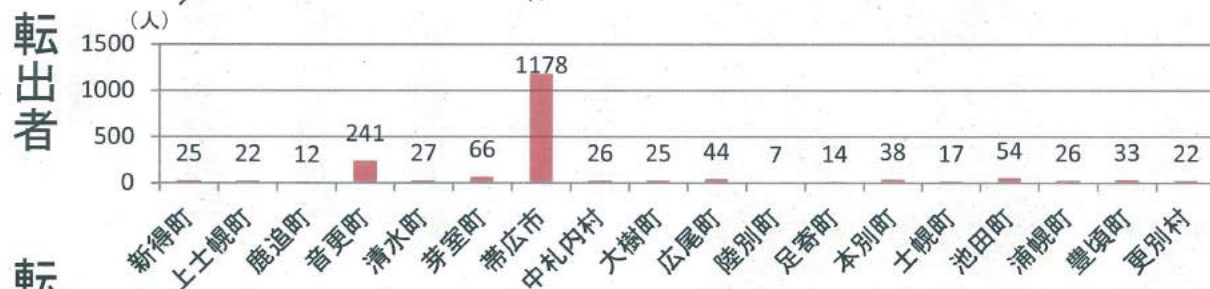
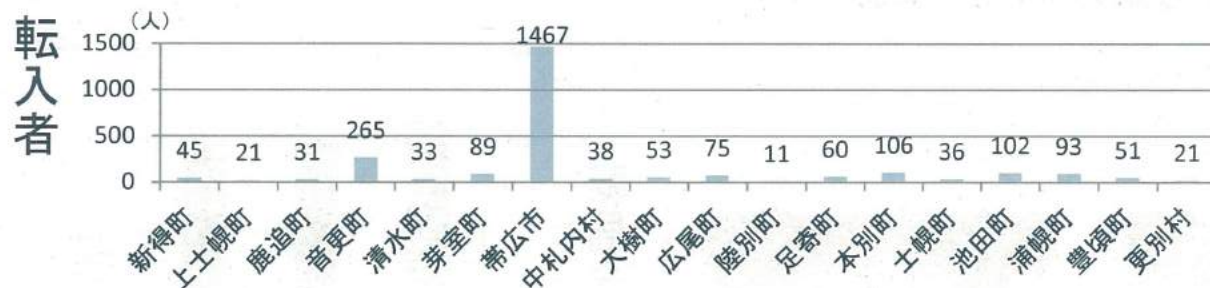


# (1)人口動向分析

## 力 他の市町村との人口移動の状況（十勝管内との関係）

動向分析（過去4力年の合計値）：

転出入ともに帯広市が多数を占める。次いで、音更町との転出入が目立つ。十勝振興局圏内においては、本町は転入超過の傾向にある。



※1 各人口は、各年3月末時点の人口を採用した。  
 ※2 地図におけるサークルの中心は、各自治体の役場所在地とした。

# (1)人口動向分析

## カ 他の市町村との人口移動の状況 (0~14歳の動向)

動向分析(過去4カ年の合計値及び経年値):

出生は、3地区市街地を中心とし、町内全域にみられる。

転入は、札内地区に集中しており、転出は、幕別地区に集中している。忠類地区における年少人口の増減は、自然増減・社会増減ともに少ない。



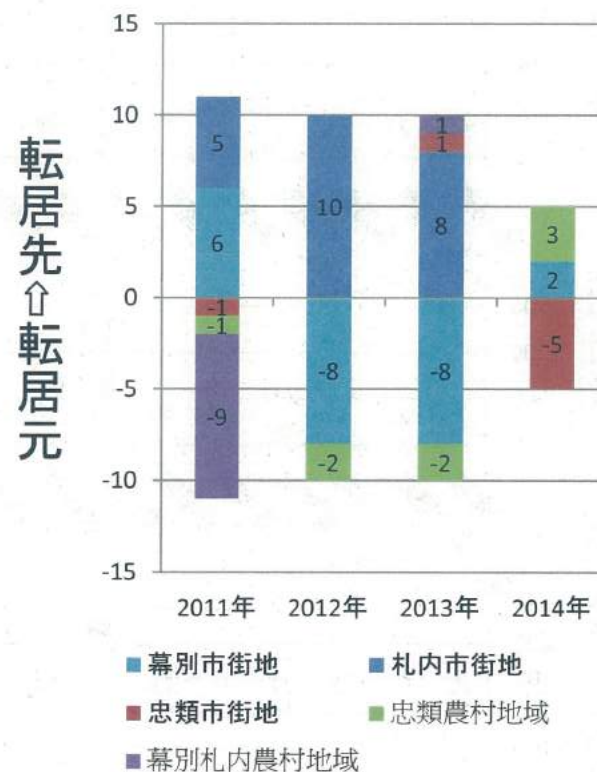
出生



転入



転出



# (1)人口動向分析

## カ 他の市町村との人口移動の状況（15～64歳の動向）

動向分析（過去4カ年の合計値及び経年値）：

死亡は、幕別本町及び札内地区に集中している。

転入は、3地区市街地を中心とし、町内全域にみられる。特に、札内市街地は転入数が多い。転出は、3地区の中心地に集中している。特に、幕別市街地・幕別札内農村地域は転出数が多い。



死亡

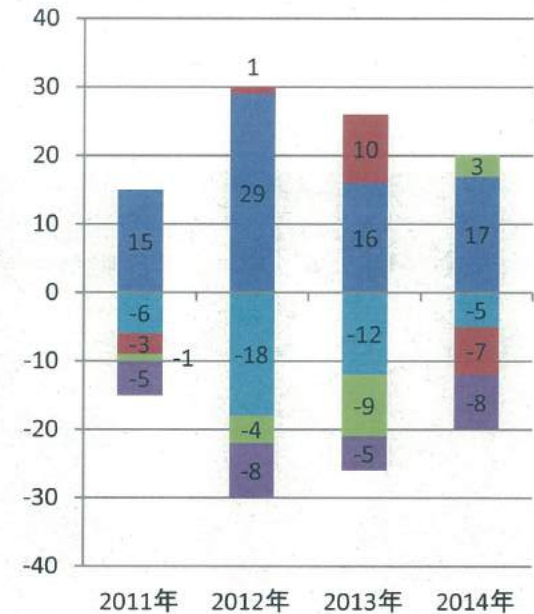


転入



転出

転居先⇕転居元



- 幕別市街地
- 札内市街地
- 忠類市街地
- 忠類農村地域
- 幕別札内農村地域

# (1)人口動向分析

## カ 他の市町村との人口移動の状況（65歳以上の動向）

動向分析（過去4カ年の合計値及び経年値）：

死亡は、幕別本町及び札内地区に集中しているが、町内全域で見られる。

転出入は札内地区に集中しているが、3地区の中心地で確認できる。転入は、幕別・忠類市街地に多く見られ、札内市街地・忠類農村地域からの転出が多い。



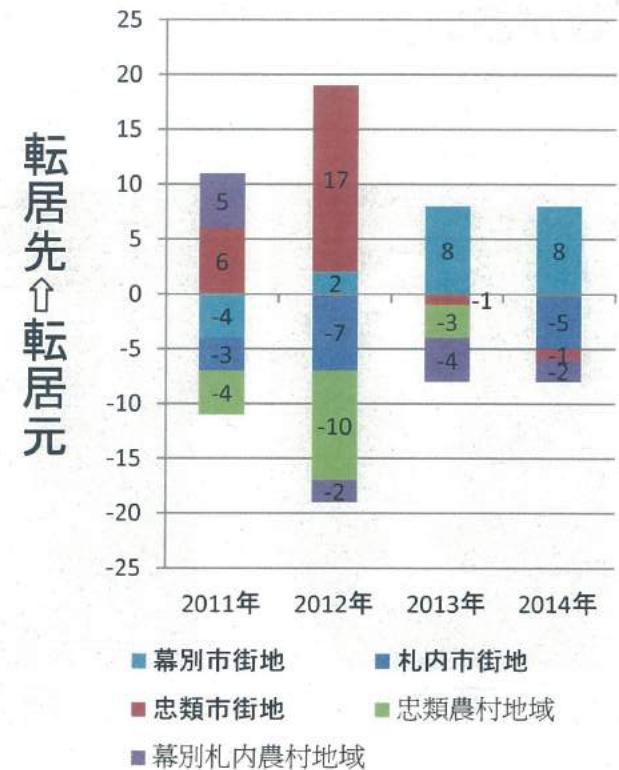
死亡



転入



転出



# (1)人口動向分析

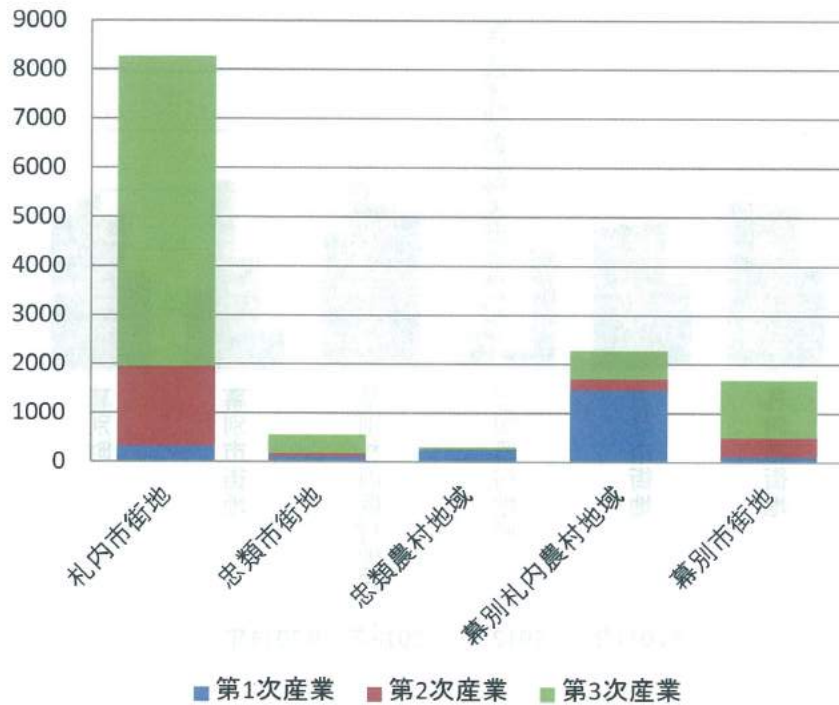
追加資料

## 工 総人口の推移に与えてきた自然増減及び社会増減の影響

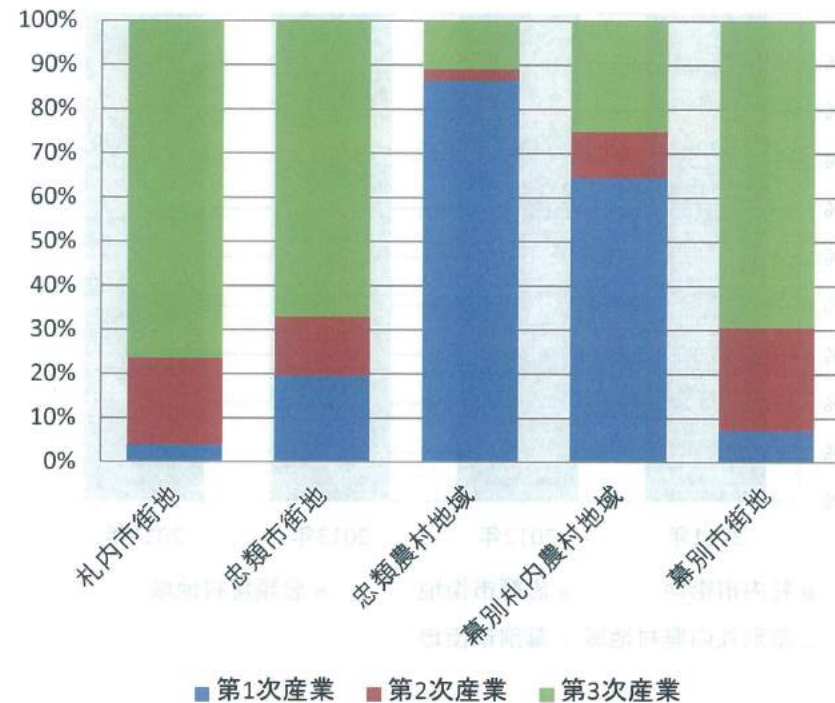
動向分析(2014年のみ):

第一次産業(農林水産業)は、幕別札内農村地域で2000人近く居住し、地域内の割合は65%近く占める。忠類農村地域は8割以上が一次産業に携わっている。3市街地においては第三次産業(サービス業等)が大多数を占め、札内市街地では6000人程度が携わっている。

地域別産業分類(実数)



地域別産業分類(割合)



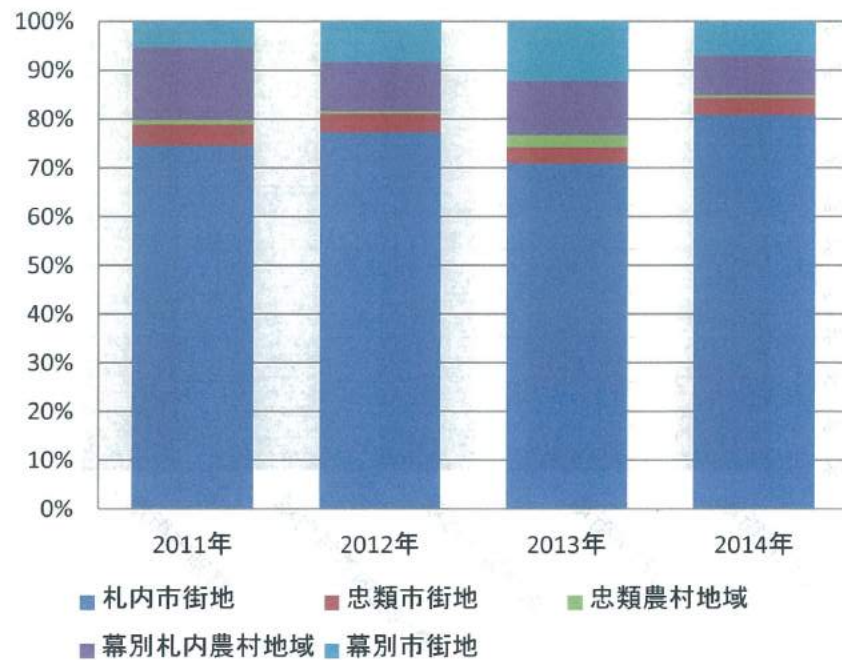
# (1)人口動向分析

## 力 地区別の出生数・出生率

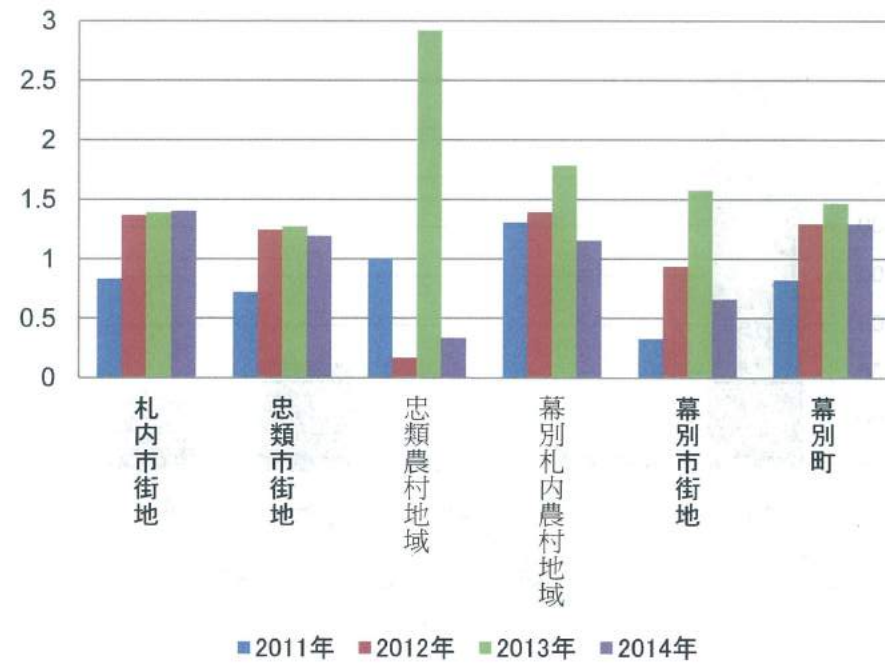
### 動向分析:

出生数の割合は、札内地区で70%以上となり、次に幕別札内農村地域が多い。  
 出生率(期間合計特殊出生率)は、各地域2011年が1人を下回るが、忠類農村地域を除き、1~1.5人を確保している。

出生数における地域ごとの割合



出生率の地域ごとの推移



※1 女性が出産可能な年齢を15歳から49歳までと規定し、それぞれの出生率を出し、足し合わせることで、人口構成の偏りを排除し、一人の女性が一生に産む子供の数の平均を求める。

45 歳以上

幕別町にお住まいの皆様：

全国的に少子高齢化が進行する中、本町の人口は、平成 17 年の 27,482 人から、現在の 27,596 人と 10 年間で、約 1%の微増となっております。しかし、本町の内状は、3 地区における人口の偏りが目立ち、死亡数が出生数を上回る傾向となっており、将来的には本町の人口も減少すると推計されております。このため、本町では、地方創生に向けた今後 5 年の施策の方向性を位置づける「幕別町創生総合戦略」を平成 27 年度中に策定し、町の総力を結集して地方創生に取り組んでまいりたいと考えています。そこで、本町にお住まいの皆様を对象に、人口減少に対するご自身の意識、お住まいのこと、本町での暮らしの満足度などについてアンケート調査を行うことと致しました。

アンケート調査の内容は、「幕別町創生総合戦略」を考えるための基礎資料にさせていただくものであり、個人が特定されたり、調査内容を他の目的に利用することはございません。

調査の趣旨をご理解いただき、7月24日（金） 返にアンケートにご回答いただき、同封した封筒でご返送いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

幕別町長：飯田晴義

- ◎ このアンケート調査は、住民基本台帳により分類した 45 歳以上の世帯主に対し、無作為にご送付させていただいております。
  - ◎ 調査票は 1 部同封させていただいております。
  - ◎ このアンケートは、あなた自身のことやお住まいのこと、日々の暮らしに関するご意見、考え方をお聞きするものです
  - ◎ アンケートの内容は、10 分程度で終わる内容です。
  - ◎ 記入漏れのないように、ご注意願います。
  - ◎ データは統計的に処理し、調査事業のみに使用いたします。他の目的に利用することはございません。
- ◆ ご記入いただけましたら、同封の『返信用封筒』にご封入いただき、お手数ですがお近くの郵便ポストにご投函願います。
- ◆ 平成 27 年 7 月 24 日（金） までにご返送をお願いします。

#### 【本調査に関するお問い合わせ】

このアンケート調査は、（一社）北海道開発技術センターが受託し、実施しております。  
（一社）北海道開発技術センター 担当：小西・越後  
〒001-0011 北海道札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号  
Tel：011-738-3363 fax：011-738-1889 E-mail:konishi@decnet.or.jp

1-1 あなた自身のことについて、それぞれの項目を、□の中から選んで✓をつけてください。

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	(            ) 歳
お住まいの地区	<input type="checkbox"/> 幕別市街 <input type="checkbox"/> 札内市街 <input type="checkbox"/> 忠類市街 <input type="checkbox"/> 幕別札内農村地域 <input type="checkbox"/> 忠類農村地域
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専門職（弁護士・医師・会計士など） <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 自営業（商工業・サービス業） <input type="checkbox"/> 自営業（農林水産業） <input type="checkbox"/> 主婦・主夫（専業主婦） <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職（年金受給者も含む） <input type="checkbox"/> その他（                      )
世帯人数	(            ) 人 ※ご回答いただく方も含めた人数をご記入ください。
世帯構成	<input type="checkbox"/> 単身 <input type="checkbox"/> 夫婦のみ <input type="checkbox"/> 親子（二世帯） <input type="checkbox"/> 三世帯以上の家族 <input type="checkbox"/> その他
現在、お住まいの住所での居住年数	約 (            ) 年
現在、お住まいの住宅	<input type="checkbox"/> 自分または家族の持ち家（一戸建） <input type="checkbox"/> 自分または家族の持ち家（マンション、アパート） <input type="checkbox"/> 民間の借家（一戸建） <input type="checkbox"/> 民間の借家（マンション、アパート） <input type="checkbox"/> 道営・町営住宅 <input type="checkbox"/> その他（                      )
保有するクルマ	<input type="checkbox"/> ほぼ自分専用のクルマがある <input type="checkbox"/> 家族共用のクルマがある <input type="checkbox"/> ない
保有するクルマを手放す場合、転居を考えますか？	<input type="checkbox"/> 幕別町外で転居する予定 <input type="checkbox"/> 幕別町内で転居する予定 <input type="checkbox"/> 現在のお住まいで暮らす <input type="checkbox"/> その他（                      ) ※現在ご自分で運転している方のみお答えください

2-1 本町の人口は現在 27,596 人（2015 年 3 月末）ですが、2040 年には 22,062 人に減少すると国立社会保障・人口問題研究所の推計結果が公表されています。あなたは、この推計結果を知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 知っている                      2. なんとなく聞いたことがある                      3. 知らなかった

2-2 本町の人口が減少していくことについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべき  
2. 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべき  
3. 人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき  
4. 人口減少はやむを得ない  
5. その他（                      )





3-1 今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。あてはまる数字1つに○をつけてください。

1. 住み続けたい
2. 住み続けたいとは思わない
3. どちらともいえない
4. わからない

「1. 住み続けたい」と回答した方にうかがいます。住み続けたいと思う理由は次のうちどれですか。あてはまる数字すべてに○をつけてください。

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 住み慣れているから            | 7. 勤務先が近いから          |
| 2. 住宅費が安いから             | 8. 通勤・通院などの交通の便が良いから |
| 3. 光熱費が安いから             | 9. 自然に恵まれているから       |
| 4. 家族、友人など、頼れる人が近くにいるから | 10. 買い物に便利だから        |
| 5. 近所付き合いに恵まれているから      | 11. その他 ( )          |
| 6. 医療機関が充実しているから        | 12. 特に理由はない          |

「2. 住み続けたいとは思わない」と回答した方にうかがいます。住み続けたいと思わない理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 住み慣れていないから            | 7. 勤務先が遠いから          |
| 2. 住宅費が高いから              | 8. 通勤・通院などの交通の便が悪いから |
| 3. 光熱費が高いから              | 9. 自然に恵まれていないから      |
| 4. 家族、友人など、頼れる人が近くにいないから | 10. 買い物に不便だから        |
| 5. 近所付き合いに恵まれていないから      | 11. その他 ( )          |
| 6. 医療機関が充実していないから        | 12. 特に理由はない          |

3-2 幕別町で暮らすためには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるもの3つ以内で○をつけてください。

- |                              |                                     |
|------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 手ごろな物件が（価格や広さなどの条件）あること   | 7. 子育て環境の良さ（保育園や幼稚園の育児環境、子供の遊ぶ環境）   |
| 2. 通勤の便利さ（職場に近い、交通アクセスが良いなど） | 8. 教育環境の良さ（学校や塾などの教育環境、子供の通学の便など）   |
| 3. 生活の便の良さ（買物がしやすい、駅まで近いなど）  | 9. 安心できる環境（治安が良い、病院が近い、近所付き合いがしやすい） |
| 4. 親が近くに住むこと、または親と同居できること    | 10. 福祉政策・施設の充実                      |
| 5. 自然が多く、公園が充実していること         | 11. 地域への愛着（故郷や以前の居住歴）               |
| 6. 趣味やレジャーが楽しめること            | 12. 町のイメージや雰囲気                      |
|                              | 13. その他 ( )                         |

4-1 自分が健康だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 健康である
- 2. おおむね健康である
- 3. あまり健康ではない
- 4. 健康ではない
- 5. わからない

4-2 高齢期を安心して過ごすために幕別町に充実を求めることはどのようなことですか。主なもの3つ以内で○をつけてください。

- 1. 就業・就労
- 2. 生きがい対策
- 3. 在宅での福祉
- 4. 施設による福祉
- 5. 高齢者向け住宅の整備
- 6. 介護保険制度の充実
- 7. 健康診断や生活習慣病検診
- 8. 診察、看護、機能訓練などの訪問体制
- 9. 認知症予防、認知症高齢者対策
- 10. 地域の助け合い活動
- 11. 地域で気軽に交流できる施設
- 12. 後見人などの財産管理活動
- 13. 虐待への対応
- 14. 気軽に相談できる窓口の整備
- 15. 保健・福祉に関する情報提供
- 16. その他（具体的に )
- 17. 特にない

以下の各項目に対する、あなたの満足、及び、あなたの満足度を高めるうえでの大切さについて、各項目のあてはまる数字に○をつけてください。

項目	どの程度、満足していますか？					どの程度、大切ですか？					
	満足度及び重要度	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している	大切ではない	あまり大切ではない	どちらともいえない	まあ大切である	大切である
1. 町の暮らし全般について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 道路舗装や沿道の整備状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 上下水道の整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 家庭ゴミの処理（分別方法）について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 宅地造成・住宅整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. まちなみや景観（公園・建物・看板など）の整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 除排雪体制の整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 公共料金（水道・ガス）について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 公害の防止について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 森や川などの自然環境について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 商店街や町内経済の魅力について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 農林業の振興について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	満足度 及び 重要度	どの程度、 満足していますか？					どの程度、 大切ですか？				
		不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している	大切ではない	あまり大切ではない	どちらともいえない	まあ大切である	大切である
13. 地域資源を活用した製品開発・販売について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 働く場の確保状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 新規企業の誘致状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 買い物の便利さ		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. 通勤・通学・通院などの日常の交通手段		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 管外・道外などに行くための交通手段		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 快適な住環境について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20. 情報通信網の整備状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 消防・救急体制の整備状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 高齢者や障害者福祉について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. 保育所・子育て支援		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. 子供の遊び場の整備状況		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. 医療体制（医療施設）の整備状況		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 防犯対策		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. 交通安全対策		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 学校や図書館の教育環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. 次世代を担う人材育成に関する取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 生涯教育を受ける環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32. スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33. 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34. 市民活動（ゴミ拾いや植樹など）へ参加しやすい社会に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35. 郷土愛の向上に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36. 町内地域の交流・連携に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37. 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38. 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39. 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40. 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

アンケートは次のページにもございます。ご協力お願いいたします。

6-1 あなたが幕別町に住む一番の理由は何だと思えますか。自由にご記入ください。

6-2 幕別町の自慢を1つ挙げるとしたら何だと思えますか。自由にご記入ください。  
(豊かな自然、パークゴルフ発祥の地、グルメ、子育てしやすい環境など)

6-3 幕別町の魅力として今後、新たに広く町外にアピールしていくべきものは何だと思えますか。自由にご記入ください。

6-4 その他、幕別町の人口の将来展望について、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。同封の『返信用封筒』にご封入いただき、お手数ですがお近くの郵便ポストにご投函願います。



20～45 歳女性

幕別町にお住まいの 20 歳～45 歳の女性の皆様：

全国の平成 26 年の合計特殊出生率(15～49 歳の年齢別出生率の合計)は 1.42 であり、前年から 0.01 ポイント低下しました。また、第 1 子の母の平均年齢は 30.6 歳に上昇するとともに、40 歳以上で第 1 子となる方が約 2 万人あり、出生に占める 40 歳以上の割合は 38.6%に増える等、全国的に晩婚化・晩産化の傾向であり、少子高齢化が進行しております。

本町の人口は、平成 17 年の 27,482 人から、現在の 27,596 人と 10 年間で約 1%の微増ではありますが、3 地区の人口の偏りが目立ち、近年は死亡数が出生数を上回るなど、将来的には本町の人口も減少すると推計されております。このため、本町では地方創生に向けた今後 5 力年の施策の方向性を位置づける「幕別町総合戦略」を平成 27 年度中に策定することとしております。

そこで、本町にお住まいの 20 歳～45 歳の女性(未婚・既婚問わず)を対象に、結婚・出産の意向や将来の子ども数、子育ての弊害や子育てに必要なことを始め、人口減少に対する意識や町の暮らし等についてアンケート調査を行うことと致しました。

アンケート調査の内容は、「幕別町創生総合戦略」を考えるための基礎資料にさせていただくものであり、個人が特定されたり、調査内容を他の目的に利用することはありません。

調査の趣旨をご理解いただき、7 月 24 日(金)迄にアンケートにご回答いただき、同封した封筒でご返送いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

幕別町長：飯田晴義

- ◎ このアンケート調査は、住民基本台帳により分類した 45 歳未満の女性の方に対し、無作為にご送付させていただいております。
- ◎ 調査票内の「結婚している」とは、届出の有無に関わらず配偶者がいることです。
- ◎ 調査票は 1 部同封させていただいております。
- ◎ このアンケートは、あなた自身のことやお住まいのこと、日々の暮らしに関するご意見、考え方をお聞きするものです
- ◎ アンケートの内容は、10 分程度で終わる内容です。
- ◎ 記入漏れのないように、ご注意願います。
- ◎ データは統計的に処理し、調査事業のみに使用いたします。他の目的に利用することはありません。
- ◆ ご記入いただけましたら、同封の『返信用封筒』にご封入いただき、お手数ですがお近くの郵便ポストなどに平成 27 年 7 月 24 日(金)までにご投函願います。

#### 【本調査に関するお問い合わせ】

このアンケート調査は、(一社)北海道開発技術センターが受託し、実施しております。  
 (一社)北海道開発技術センター 担当：小西・越後  
 〒001-0011 北海道札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号  
 Tel：011-738-3363 fax：011-738-1889 E-mail:konishi@decnet.or.jp

年齢	( ) 歳
現在、お住まいの住所での居住年数	約 ( ) 年
現在、お住まいの住宅	<input type="checkbox"/> 自分または家族の持ち家（一戸建） <input type="checkbox"/> 自分または家族の持ち家（マンション、アパート） <input type="checkbox"/> 民間の借家（一戸建） <input type="checkbox"/> 民間の借家（マンション、アパート） <input type="checkbox"/> 道営・町営住宅 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
世帯の構成	<input type="checkbox"/> 未婚・単身      ⇒質問2・3・4へお進みください <input type="checkbox"/> 既婚・単身      ⇒質問5・6へお進みください <input type="checkbox"/> 夫婦のみ        ⇒質問5・6へお進みください <input type="checkbox"/> 子どもを含む二世帯の家族      ⇒質問5・6へお進みください <input type="checkbox"/> 両親と子どもを含む三世帯以上の家族      ⇒質問5・6へお進みください <input type="checkbox"/> その他            ⇒質問5・6へお進みください

**2-1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目を、口の中から選んで✓をつけてください。**

未婚の別	お住まいの地区	
<input type="checkbox"/> 結婚経験はない <input type="checkbox"/> 離婚後未婚 <input type="checkbox"/> 死別後未婚	<input type="checkbox"/> 幕別市街 <input type="checkbox"/> 札内市街 <input type="checkbox"/> 忠類市街	<input type="checkbox"/> 幕別札内農村地域 <input type="checkbox"/> 忠類農村地域 <input type="checkbox"/> 町外（単身赴任）
職業		
<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 自営業（農林水産業） <input type="checkbox"/> 無職（年金受給者も含む）	<input type="checkbox"/> 専門職（弁護士・医師・会計士など） <input type="checkbox"/> 自営業（商工業・サービス業） <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他（                      ）	

**2-2 あなたの現在のお仕事について、それぞれの項目に、該当する数字を記入し、それぞれの項目を、口の中から選んで✓をつけてください。**

	あなたの現在の仕事について	
先月（6月）の収入 （賞与は除く）	約 ( ) 万円	
	事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた額を記入してください。	
昨年（平成26年） の年収	約 ( ) 万円	
今後の仕事の 継続見通し	<input type="checkbox"/> 当分は今の仕事を続ける <input type="checkbox"/> 転職の可能性あり	<input type="checkbox"/> 退職の可能性あり <input type="checkbox"/> わからない
今後5年間の 収入の見通し	<input type="checkbox"/> かなり減ると思う <input type="checkbox"/> ある程度減ると思う <input type="checkbox"/> 変わらないと思う	<input type="checkbox"/> ある程度増えると思う <input type="checkbox"/> かなり増えると思う
	転職などによる増収や、失業などにもなう減収の見通しも含めてください。	



①	将来、結婚（再婚）したいと思いますか？	<input type="checkbox"/> 結婚（再婚）したい <input type="checkbox"/> 結婚（再婚）したくない ⇒⑤へお進みください <input type="checkbox"/> わからない
②	希望する結婚（再婚）年齢は何歳ですか？	( ) 歳
③	現在、交際している方はいますか？	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない ⇒質問4へお進みください
④	結婚（再婚）を妨げている要因があれば、教えてください。 ※複数回答	<input type="checkbox"/> 今の相手とは結婚（再婚）を考えていない <input type="checkbox"/> 結婚（再婚）を望んでいるが、相手の承諾が得られるかわからない <input type="checkbox"/> 結婚（再婚）を望んでいるが、将来像に隔たりがある <input type="checkbox"/> 経済的な余裕がない <input type="checkbox"/> 結婚（再婚）のための住居がない
⑤	結婚（再婚）したいと思わない理由は何ですか？ ※複数回答	<input type="checkbox"/> 自分の生活リズムや生活スタイルが保たれない <input type="checkbox"/> 余暇や遊びの時間を自由に取れない <input type="checkbox"/> お金を自由に使えない <input type="checkbox"/> 職業を自由に選べない <input type="checkbox"/> 仕事や学業の時間を自由に取れない <input type="checkbox"/> 住む場所が制約される <input type="checkbox"/> 適齢ではない <input type="checkbox"/> 必要を感じない <input type="checkbox"/> その他 ( )

①	お子さんの出産について、計画を立てていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
②	現在、お子さんは何人いますか？ ※妊娠中を含む	現在の子どもの人数 ( ) 人
③	現在のお子さんの人数は、理想と比べていかがですか？	<input type="checkbox"/> 理想より多い ⇒質問7へお進みください <input type="checkbox"/> 理想通り ⇒質問7へお進みください <input type="checkbox"/> 理想より少ない ⇒④へお進みください
④	理想では、何人のお子さんがほしいとお考えですか？	( ) 人
⑤	現在、理想よりもお子さんの人数が少ないのはなぜですか？ ※複数回答	<input type="checkbox"/> 出産計画通りである <input type="checkbox"/> 子育て、教育にお金がかかるから <input type="checkbox"/> 自分の仕事に支障が出るから <input type="checkbox"/> 高齢出産となるから <input type="checkbox"/> 心理的、肉体的負担に耐えられないから <input type="checkbox"/> 家事や育児など、家族の協力が得られないから <input type="checkbox"/> 定年までに子どもが成人してほしいから <input type="checkbox"/> 育児に適した社会環境ではないから <input type="checkbox"/> 自分の生活を大切にしたいから <input type="checkbox"/> 保育所など、子どもの預け先がないから <input type="checkbox"/> その他 ( )

質問7以降のご回答にご協力お願いいたします。





7-1 幕別町が実施している、妊娠・出産・子育てに対する支援について、あなたをご存知ですか？また、その支援について重要だと思いますか？あてはまる数字に○をお願いします。

支援	認知度 及び 重要度		ご存知 ですか？		その支援は重要だと思いますか？				
	知らない	知っている	で大 は切 ない	であ はま り大 切	いど えち なら いも	大ま 切あ でま ある	大切 である		
児童手当制度	1	2	1	2	3	4	5		
父母の離婚などによる児童扶養手当	1	2	1	2	3	4	5		
妊婦検診料の助成	1	2	1	2	3	4	5		
特定不妊治療費の助成	1	2	1	2	3	4	5		
予防接種の助成	1	2	1	2	3	4	5		
保健師の新生児への訪問	1	2	1	2	3	4	5		
乳幼児健診	1	2	1	2	3	4	5		
乳幼児教室（よちよちサロンやすくすく相談）	1	2	1	2	3	4	5		
パパママ教室	1	2	1	2	3	4	5		
子ども医療費助成	1	2	1	2	3	4	5		
児童虐待の相談（通告）窓口	1	2	1	2	3	4	5		
子育て支援センターの設置	1	2	1	2	3	4	5		
認可保育所の設置	1	2	1	2	3	4	5		
へき地保育所の設置	1	2	1	2	3	4	5		
学童保育所の設置	1	2	1	2	3	4	5		
養育が困難となった場合の児童養護施設十勝学園での子どもの預かり	1	2	1	2	3	4	5		

7-2 幕別町に対して、今後どのような子育て支援充実を図ってほしいと期待していますか。あてはまるもの3つ以内で○をつけてください。

1. 妊娠・出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実
2. 児童手当・保育料・教育費など子育て費用の助成
3. 多様な保育サービスの充実
4. 保育園・幼稚園を活用した子育てについての不安・悩みの相談体制の充実
5. 子育てに関する相談・情報提供の充実
6. 子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所・機会の提供
7. 遊び場・親子の交流・相談の場・情報発信等の機能を持った施設の整備
8. 出産退院後、身の回りの世話をしてくれる家事や育児への支援サービスの拡充
9. 託児付き子育てイベントの開催（コンサートや観劇会・講演会など）
10. 子どもへの虐待防止対策と体制の整備
11. 男女共同参画の意識づくり
12. 父親への育児参加の啓発・支援
13. 公園などの遊び場の整備
14. 子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発
15. 子どもと安心して外出できる社会環境の整備（バリアフリーの促進など）
16. その他（ ）

8-1 今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。あてはまる数字1つに○をつけてください。

1. 住み続けたい
2. 住み続けたいとは思わない
3. どちらともいえない
4. わからない

「1. 住み続けたい」と回答した方にうかがいます。住み続けたいと思う理由は次のうちどれですか。あてはまる数字すべてに○をつけてください。

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 住み慣れているから            | 7. 勤務先が近いから          |
| 2. 住宅費が安いから             | 8. 通勤・通院などの交通の便が良いから |
| 3. 光熱費が安いから             | 9. 自然に恵まれているから       |
| 4. 家族、友人など、頼れる人が近くにいるから | 10. 買い物に便利だから        |
| 5. 近所付き合いに恵まれているから      | 11. その他 ( )          |
| 6. 医療機関が充実しているから        | 12. 特に理由はない          |

「2. 住み続けたいとは思わない」と回答した方にうかがいます。住み続けたいと思わない理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 住み慣れていないから            | 7. 勤務先が遠いから          |
| 2. 住宅費が高いから              | 8. 通勤・通院などの交通の便が悪いから |
| 3. 光熱費が高いから              | 9. 自然に恵まれていないから      |
| 4. 家族、友人など、頼れる人が近くにいないから | 10. 買い物に不便だから        |
| 5. 近所付き合いに恵まれていないから      | 11. その他 ( )          |
| 6. 医療機関が充実していないから        | 12. 特に理由はない          |

8-2 幕別町で暮らすためには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるもの3つ以内に○をつけてください。

- |                              |                                     |
|------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 手ごろな物件が（価格や広さなどの条件）あること   | 7. 子育て環境の良さ（保育園や幼稚園の育児環境、子供の遊ぶ環境）   |
| 2. 通勤の便利さ（職場に近い、交通アクセスが良いなど） | 8. 教育環境の良さ（学校や塾などの教育環境、子供の通学の便など）   |
| 3. 生活の便の良さ（買物がしやすい、駅まで近いなど）  | 9. 安心できる環境（治安が良い、病院が近い、近所付き合いがしやすい） |
| 4. 親が近くに住むこと、または親と同居できること    | 10. 福祉政策・施設の充実                      |
| 5. 自然が多く、公園が充実していること         | 11. 地域への愛着（故郷や以前の居住歴）               |
| 6. 趣味やレジャーが楽しめること            | 12. 町のイメージや雰囲気                      |
|                              | 13. その他 ( )                         |



以下の各項目に対する、あなたの満足、及び、あなたの満足度を高めるうえでの大切さについて、各項目のあてはまる数字に○をつけてください。

項目	どの程度、満足していますか？					どの程度、大切ですか？				
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している	大切ではない	あまり大切ではない	どちらともいえない	まあ大切である	大切である
1. 町の暮らし全般について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 道路舗装や沿道の整備状況について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 上下水道の整備について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 家庭ゴミの処理（分別方法）について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 宅地造成・住宅整備について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. まちなみや景観（公園・建物・看板など）の整備について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 除排雪体制の整備について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 公共料金（水道・ガス）について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 公害の防止について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 森や川などの自然環境について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 商店街や町内経済の魅力について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 農林業の振興について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 地域資源を活用した製品開発・販売について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 働く場の確保状況について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 新規企業の誘致状況について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 買い物の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. 通勤・通学・通院などの日常の交通手段	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 管外・道外などに行くための交通手段	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 快適な住環境について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20. 情報通信網の整備状況について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 消防・救急体制の整備状況について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 高齢者や障害者福祉について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. 保育所・子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. 子供の遊び場の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. 医療体制（医療施設）の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 防災（避難場所・耐震）に向けた取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 学校や図書館の教育環境整備について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. 次世代を担う人材育成に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 生涯教育を受ける環境整備について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	満足度 及び 重要度	どの程度、 満足していますか？					どの程度、 大切ですか？				
		不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している	大切ではない	あまり大切ではない	どちらともいえない	まあ大切である	大切である
32. スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33. 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34. 市民活動（ゴミ拾いや植樹など）へ参加しやすい社会に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35. 郷土愛の向上に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36. 町内地域の交流・連携に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37. 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38. 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39. 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40. 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

11-1 あなたが幕別町に住む一番の理由は何だと思えますか。自由にご記入ください。

11-2 幕別町の自慢を1つ挙げるとしたら何だと思えますか。自由にご記入ください。  
（豊かな自然、パークゴルフ発祥の地、グルメ、子育てしやすい環境など）

11-3 幕別町の魅力として今後、新たに広く町外にアピールしていくべきものは何だと思えますか。自由にご記入ください。

11-4 その他、幕別町の人口の将来展望について、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。



## 高校生

幕別町にお住まいの皆様：

全国的に少子高齢化が進行する中、本町の人口は、平成 17 年の 27,482 人から、現在の 27,596 人と 10 年間で、約 1%の微増となっております。しかし、本町の内状は、3 地区における人口の偏りが目立ち、死亡数が出生数を上回る傾向となっており、将来的には本町の人口も減少すると推計されております。このため、本町では、地方創生に向けた今後 5 か年の施策の方向性を位置づける「幕別町創生総合戦略」を平成 27 年度中に策定し、町の総力を結集して地方創生に取り組んでまいりたいと考えています。そこで、本町の高校に通学されている高校生の皆さまを対象に、人口減少に対するご自身の意識、進路のこと、本町の魅力などについてアンケート調査を行うことと致しました。

アンケート調査の内容は、「幕別町創生総合戦略」を考えるための基礎資料にさせていただくものであり、個人が特定されたり、調査内容を他の目的に利用することはございません。

調査の趣旨をご理解いただき、7月24日（金）迄にアンケートにご回答いただき、同封した封筒でご返送いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

幕別町長：飯田晴義

- ◎ このアンケート調査は、幕別町内の高等学校に通う高校生に対し、行っております。
- ◎ 調査票は 1 部同封させていただいております。
- ◎ このアンケートは、あなた自身のことや卒後の進路のこと、日々の暮らしに関するご意見、考え方をお聞きするものです
- ◎ アンケートの内容は、10 分程度で終わる内容です。
- ◎ 記入漏れのないように、ご注意願います。
- ◎ データは統計的に処理し、調査事業のみに使用いたします。他の目的に利用することはございません。

◆ ご記入いただけましたら、担任の先生などにご提出してください。

**【本調査に関するお問い合わせ】**

このアンケート調査は、（一社）北海道開発技術センターが受託し、実施しております。

（一社）北海道開発技術センター 担当：小西・越後

〒001-0011 北海道札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号

Tel：011-738-3363 fax：011-738-1889 E-mail:konishi@decnet.or.jp

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
学年	<input type="checkbox"/> 1年生 <input type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生
お住まいの地区	<input type="checkbox"/> 幕別市街 <input type="checkbox"/> 札内市街 <input type="checkbox"/> 忠類市街 <input type="checkbox"/> 幕別札内農村地域 <input type="checkbox"/> 忠類農村地域 <input type="checkbox"/> 町外その他（                      ）
家族（世帯）構成 ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> おじ <input type="checkbox"/> おば <input type="checkbox"/> 甥 <input type="checkbox"/> 姪 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
兄弟姉妹の人数と状況 ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 兄（      ）人⇒ <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 大学・短大 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 姉（      ）人⇒ <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 大学・短大 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 弟（      ）人⇒ <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 未就学児
	<input type="checkbox"/> 妹（      ）人⇒ <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 未就学児

④ 卒業後の進路や希望について、ご自身の進路や希望、ご家族からの助言等についてお答えください。

①	卒業後の進路や希望は決まっていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ      ⇒④へお進みください
②	高校卒業後の具体的な進路や希望について教えてください。	<input type="checkbox"/> 就職 ⇒ <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 家業 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
		<input type="checkbox"/> 進学 ⇒ <input type="checkbox"/> 四年制大学 <input type="checkbox"/> 短大 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
③	高校卒業後の進路や希望の決定時期はいつ頃でしたか？	<input type="checkbox"/> 高校3年生 <input type="checkbox"/> 高校2年生 <input type="checkbox"/> 高校1年生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> その他
④	高校卒業後の進路や希望を決定する際、どのようなサポートが最も重要だと思いますか？ ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 将来について考える機会 <input type="checkbox"/> 両親からの助言 <input type="checkbox"/> 様々な職業を体験する機会 <input type="checkbox"/> 先生からの助言 <input type="checkbox"/> 様々な職業についての情報 <input type="checkbox"/> 進学先についての情報 <input type="checkbox"/> 友人からの助言 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
⑤	上記で選択した、機会や情報、助言等は十分に得られていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> どちらとも言えない
⑥	高校卒業後の就職先や進学先は、どちらの地域を希望しますか？また、その際の居住地はどこですか？	就職を希望する方（就職先） <input type="checkbox"/> 幕別町内      ⇒⑩へ <input type="checkbox"/> 十勝管内      ⇒⑦へ <input type="checkbox"/> 北海道内      ⇒⑦へ <input type="checkbox"/> 北海道外      ⇒⑦へ
		進学を希望する方（進学先） <input type="checkbox"/> 十勝管内      ⇒⑦へ <input type="checkbox"/> 北海道内      ⇒⑦へ <input type="checkbox"/> 北海道外      ⇒⑦へ
		就職を希望する方（居住地） <input type="checkbox"/> 幕別町内      ⇒⑩へ <input type="checkbox"/> 十勝管内      ⇒⑦へ <input type="checkbox"/> 北海道内      ⇒⑦へ <input type="checkbox"/> 北海道外      ⇒⑦へ
		進学を希望する方（居住地） <input type="checkbox"/> 幕別町内      ⇒⑩へ <input type="checkbox"/> 十勝管内      ⇒⑦へ <input type="checkbox"/> 北海道内      ⇒⑦へ <input type="checkbox"/> 北海道外      ⇒⑦へ

⑦	なぜ、幕別町外への就職や進学を選択したのですか？ ※複数回答	<input type="checkbox"/> 町内に希望する就職先がない <input type="checkbox"/> 実家が幕別町外で、 <input type="checkbox"/> 町内に進学先自体がない        実家周辺に就職先があるから <input type="checkbox"/> 自立したい <input type="checkbox"/> 実家が幕別町外で、 <input type="checkbox"/> 他のまちに住んでみたい        実家周辺に進学先があるから <input type="checkbox"/> まちに魅力がない <input type="checkbox"/> その他 (                            )
⑧	将来、幕別町で生活したいと思いますか？	<input type="checkbox"/> いつかは、幕別町で生活したいと思う <input type="checkbox"/> 幕別町で生活したいと思わない    ⇒質問3へお進みください <input type="checkbox"/> わからない
⑨	いつ頃、幕別町で生活したいと考えていますか？	<input type="checkbox"/> 仕事があれば、すぐにでも生活したい <input type="checkbox"/> 結婚したら生活したい <input type="checkbox"/> 子供を育てるときに生活したい <input type="checkbox"/> 両親に介助が必要になったら生活したい <input type="checkbox"/> 退職後、生活したい <input type="checkbox"/> その他 (                            )
⑩	それは、具体的に自分が何歳くらいのときですか？	<input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代～
⑪	町内で就職・居住しようと思った理由は何ですか？ ※複数回答	<input type="checkbox"/> 家族が住んでいるから <input type="checkbox"/> 実家で暮らしたいから <input type="checkbox"/> 慣れ親しんだ土地に住み続けたいと思ったから <input type="checkbox"/> 衣食住が整い、住みやすいと思ったから <input type="checkbox"/> 地元で貢献したいと思ったから <input type="checkbox"/> 友人が住んでいるから <input type="checkbox"/> 希望する職種の仕事があるから <input type="checkbox"/> 家業を継ぐため <input type="checkbox"/> イベントなどが多く、まちににぎわいがあるから <input type="checkbox"/> 店舗やレクリエーション施設が充実しているから <input type="checkbox"/> 医療・福祉が充実しているから <input type="checkbox"/> 出産や子育ての環境が充実しているから <input type="checkbox"/> 文化施設や図書館などの生涯学習の環境が充実しているから <input type="checkbox"/> スポーツをする環境が充実しているから <input type="checkbox"/> 自動車での移動がしやすいから <input type="checkbox"/> バスや鉄道など公共交通での移動がしやすいから <input type="checkbox"/> 犯罪が少なく治安が良いから <input type="checkbox"/> 防災対策(耐震・避難場所など)がしっかりしているから <input type="checkbox"/> 税金が安いから <input type="checkbox"/> その他 (                            )

3-1 以下の各項目に対する、あなたの満足、及び、あなたの満足度を高めるうえでの大切さについて、各項目のあてはまる数字に○をつけてください。

項目	どの程度、満足していますか？					どの程度、大切ですか？					
	満足度及び重要度	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している	大切ではない	あまり大切ではない	どちらともいえない	まあ大切である	大切である
1. 町の暮らし全般について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 道路はきれいに舗装されている		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 水道設備が整っている		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. ゴミの分別の方法		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 住宅街は利便性を考慮して配置されているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 町並みや景観（公園・建物・看板など）		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 除雪が行き届いているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 公共料金（水道・ガス）は安い		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 公害（空気や水が汚れること）はないか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 森や川などの自然環境はきれいか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 商店街などの町の経済は賑わっているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 農林業などの町の産業は賑わっているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 地域資源を活用した製品はあるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 働く場はあるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 新しい企業や工場が誘致されているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 買い物は便利か		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. 通勤・通学・通院などは通いやすいか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 管外・道外などに行きやすいか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 家・建物は過ごしやすいか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20. インターネットなどは整備されているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 消防車や救急車はすぐに来てくれるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 高齢者や障害者が暮らしやすい町か		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. 保育所・子育てがしやすいか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. 子供の遊び場がしっかりあるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. 病院や歯科は身近にあるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 防災（耐震・避難場所）対策はしっかりしているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 防犯対策はしっかりしているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. 交通安全対策はしっかりしているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 学校や図書館は利用しやすいか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. 人材の育成に町は取り組んでいるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 卒業後も学べる機会はあるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	満足度 及び 重要度	どの程度、 満足していますか？					どの程度、 大切ですか？				
		不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している	大切ではない	あまり大切ではない	どちらともいえない	まあ大切である	大切である
32. スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境はあるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33. 音楽や芸術文化などを楽しむ環境はあるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34. 市民活動（ゴミ拾いや植樹など）へ参加しやすいか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35. 郷土愛の向上に向け、町は取り組んでいるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36. 町内地域の交流・連携は活発か		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37. 町外周辺地域の交流・連携は活発か		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38. 魅力ある観光地づくりに向け、町は取り組んでいるか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39. 町は移住者などを積極的に受け入れ、町を活気づけようとしているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40. 町は情報提供をしっかりとし、住民の声を聞くようにしているか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3-2 あなたは、幕別町のことが好きですか。あてはまる□に✓または記入をお願いします

<input type="checkbox"/> 好き <input type="checkbox"/> どちらかと言えば好き <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> どちらかと言えば嫌い <input type="checkbox"/> 嫌い	理由（自由記述）
--	----------



5-1 幕別町の自慢を1つ挙げるとしたら何だと思いますか。自由にご記入ください。  
(豊かな自然、パークゴルフ発祥の地、グルメ、子育てしやすい環境など)

5-2 幕別町の魅力として今後、新たに広く町外にアピールしていくべきものは何だと思いますか。自由にご記入ください。

5-3 その他、幕別町の人口の将来展望について、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。担任の先生にご提出してください。





転入者

幕別町に転入された皆様：

全国的に少子高齢化が進行する中、幕別町の人口は、平成 17 年の 27,482 人から、現在の 27,596 人と 10 年間で、約 1%の微増となっております。しかし、幕別町の内状は、3 地区における人口の偏りが目立ち、死亡数が出生数を上回る傾向となっており、将来的には幕別町の人口も減少すると推計されております。このため、幕別町では、地方創生に向けた今後 5 か年の施策の方向性を位置づける「幕別町創生総合戦略」を平成 27 年度中に策定し、町の総力を結集して地方創生に取り組んでまいりたいと考えています。そこで、幕別町に転入された皆さまを対象に、転入理由、転居後の暮らしなどについてアンケート調査を行うことと致しました。

アンケート調査の内容は、「幕別町創生総合戦略」を考えるための基礎資料にさせていただくものであり、個人が特定されたり、調査内容を他の目的に利用することはございません。

調査の趣旨をご理解いただき、7月24日（金）迄にアンケートにご回答いただき、同封した封筒でご返送いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

幕別町長：飯田晴義

- ◎ このアンケート調査は、住民基本台帳により分類した平成 26 年から過去 3 年に幕別町へ転入された世帯に対し、無作為にご送付させていただいております。
  - ◎ 調査票は 1 部同封させていただいております。
  - ◎ このアンケートは、あなた自身のことや幕別町への転入理由や過去のお住まいからの転出理由に関するご意見、考え方をお聞きするものです
  - ◎ アンケートの内容は、10 分程度で終わる内容です。
  - ◎ 記入漏れのないように、ご注意ください。
  - ◎ データは統計的に処理し、調査事業のみに使用いたします。他の目的に利用することはありません。
- 
- ◆ ご記入いただけましたら、同封の『返信用封筒』に封入いただき、お手数ですがお近くの郵便ポストなどに投函願います。
  - ◆ 平成 27 年 7 月 24 日（金）までに返信をお願いします。

【本調査に関するお問い合わせ】

このアンケート調査は、（一社）北海道開発技術センターが受託し、実施しております。

（一社）北海道開発技術センター 担当：小西・越後

〒001-0011 北海道札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号

Tel：011-738-3363 fax：011-738-1889 E-mail:konishi@decnet.or.jp

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	(                      ) 歳
お住まいの地区	<input type="checkbox"/> 幕別市街 <input type="checkbox"/> 札内市街 <input type="checkbox"/> 忠類市街 <input type="checkbox"/> 幕別札内農村地域 <input type="checkbox"/> 忠類農村地域
居住形態 (転居前)	<input type="checkbox"/> 自分または家族の持ち家 (一戸建) <input type="checkbox"/> 自分または家族の持ち家 (マンション、アパート) <input type="checkbox"/> 民間の借家 (一戸建) <input type="checkbox"/> 民間の借家 (マンション、アパート) <input type="checkbox"/> 道営・町営住宅 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
居住形態 (現在)	<input type="checkbox"/> 自分または家族の持ち家 (一戸建) <input type="checkbox"/> 自分または家族の持ち家 (マンション、アパート) <input type="checkbox"/> 民間の借家 (一戸建) <input type="checkbox"/> 民間の借家 (マンション、アパート) <input type="checkbox"/> 道営・町営住宅 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
現在の世帯構成	<input type="checkbox"/> 単身 <input type="checkbox"/> 夫婦のみ <input type="checkbox"/> 子どもを含む二世代の家族 <input type="checkbox"/> 両親と子どもを含む三世代以上の家族 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
現在のご家族の人数※ご自身も含む	<input type="checkbox"/> 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人 <input type="checkbox"/> 4人 <input type="checkbox"/> 5人 <input type="checkbox"/> 6人 <input type="checkbox"/> 7人 <input type="checkbox"/> 8人
現在の同居している子どもについて ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学・短大・専門学校生 <input type="checkbox"/> 社会人・アルバイト <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
現在の職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専門職 (弁護士・医師・会計士など) <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 自営業 (商工業・サービス業) <input type="checkbox"/> 自営業 (農林水産業) <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 (専業主婦) <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職 (年金受給者も含む) <input type="checkbox"/> その他 (                      )

幕別町へ転入した時期と理由に関する質問

幕別町へ転入した時期はいつですか？	<input type="checkbox"/> 今年 <input type="checkbox"/> 1年前 <input type="checkbox"/> 2年前 <input type="checkbox"/> 3年前
過去に、幕別町にお住まいの経験はありましたか？	<input type="checkbox"/> ある      ⇒ <input type="checkbox"/> 幕別市街 <input type="checkbox"/> 幕別札内農村地域 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 札内市街 <input type="checkbox"/> 忠類農村地域 <input type="checkbox"/> 忠類市街
転入する前の居住地はどこですか？	都道府県 (                      ) 市町村 (                      )                      ※番地や建物名は不要です
幕別町への転入の理由何ですか？ ※複数回答	<input type="checkbox"/> 転勤や転職など仕事の都合のため <input type="checkbox"/> 家族の都合のため <input type="checkbox"/> 福祉施設等への入所のため <input type="checkbox"/> 幕別町の魅力に惹かれたため <input type="checkbox"/> 今よりも理想的な生活環境があったため <input type="checkbox"/> その他 (                      )

<p>具体的に、幕別町のまちのどのような点に魅力を感じましたか？ ※複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> イベントなどが多く、まちににぎわいがある</li> <li><input type="checkbox"/> 店舗やレクリエーション施設が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 医療・福祉が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 出産や子育ての環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 学校教育が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 文化施設や図書館などの生涯学習の環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> スポーツをする環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 自動車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> バスや鉄道など公共交通での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 徒歩や自転車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 上下水道や道路など都市基盤が整備されている</li> <li><input type="checkbox"/> ゆとりのある住宅環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 豊かな自然が残っている</li> <li><input type="checkbox"/> 自然エネルギーの活用やリサイクルなど環境に配慮している</li> <li><input type="checkbox"/> 防犯面で安全である</li> <li><input type="checkbox"/> 防災対策がしっかりしている</li> <li><input type="checkbox"/> 地域コミュニティや町内会活動が活発である</li> <li><input type="checkbox"/> 税金が安い</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>
<p>今のお住まいに決めた理由は何ですか？ ※複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 自分や家族の持ち家や土地があったから</li> <li><input type="checkbox"/> 家賃が魅力的だったから</li> <li><input type="checkbox"/> 物件（室内）の設備が魅力的だったから</li> <li><input type="checkbox"/> 職場から近かったから</li> <li><input type="checkbox"/> イベントなどが多く、まちににぎわいがある</li> <li><input type="checkbox"/> 店舗やレクリエーション施設が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 医療・福祉が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 出産や子育ての環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 学校教育が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 文化施設や図書館などの生涯学習の環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> スポーツをする環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 自動車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> バスや鉄道など公共交通での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 徒歩や自転車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 上下水道や道路など都市基盤が整備されている</li> <li><input type="checkbox"/> ゆとりのある住宅環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 豊かな自然が残っている</li> <li><input type="checkbox"/> 自然エネルギーの活用やリサイクルなど環境に配慮している</li> <li><input type="checkbox"/> 防犯面で安全である</li> <li><input type="checkbox"/> 防災対策がしっかりしている</li> <li><input type="checkbox"/> 地域コミュニティや町内会活動が活発である</li> <li><input type="checkbox"/> 税金が安い</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>

<p>前の住所地と比べて、転入後の地域で住み良いと思われるのはどのような点ですか？</p> <p>※複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> イベントなどが多く、まちににぎわいがある</li> <li><input type="checkbox"/> 店舗やレクリエーション施設が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 医療・福祉が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 出産や子育ての環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 学校教育が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 文化施設や図書館などの生涯学習の環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> スポーツをする環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 自動車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> バスや鉄道など公共交通での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 徒歩や自転車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 上下水道や道路など都市基盤が整備されている</li> <li><input type="checkbox"/> ゆとりのある住宅環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 豊かな自然が残っている</li> <li><input type="checkbox"/> 自然エネルギーの活用やリサイクルなど環境に配慮している</li> <li><input type="checkbox"/> 防犯面で安全である</li> <li><input type="checkbox"/> 防災対策がしっかりしている</li> <li><input type="checkbox"/> 地域コミュニティや自治会活動が活発である</li> <li><input type="checkbox"/> 税金が安い</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>
<p>前の住所地と比べて、転入後の地域で、住みにくいと思われるのはどのような点ですか？</p> <p>※複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> イベントなどが少なく、まちににぎわいが少ない</li> <li><input type="checkbox"/> 店舗やレクリエーション施設が充実していない</li> <li><input type="checkbox"/> 医療・福祉が充実していない</li> <li><input type="checkbox"/> 出産や子育ての環境が充実していない</li> <li><input type="checkbox"/> 学校教育が充実していない</li> <li><input type="checkbox"/> 文化施設や図書館などの生涯学習の環境が充実していない</li> <li><input type="checkbox"/> スポーツをする環境が充実していない</li> <li><input type="checkbox"/> 自動車での移動がしにくい</li> <li><input type="checkbox"/> バスや鉄道など公共交通での移動がしにくい</li> <li><input type="checkbox"/> 徒歩や自転車での移動がしにくい</li> <li><input type="checkbox"/> 上下水道や道路など都市基盤が整備されていない</li> <li><input type="checkbox"/> ゆとりのある住宅環境が充実していない</li> <li><input type="checkbox"/> 豊かな自然が少ない</li> <li><input type="checkbox"/> 自然エネルギーの活用やリサイクルなど環境に配慮していない</li> <li><input type="checkbox"/> 治安の悪さ</li> <li><input type="checkbox"/> 防災対策が整備されていない</li> <li><input type="checkbox"/> 地域コミュニティや町内会活動が希薄である</li> <li><input type="checkbox"/> 税金が高い</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>
<p>あなたは、幕別町のことが好きですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 好き</li> <li><input type="checkbox"/> どちらかと言えば好き</li> <li><input type="checkbox"/> どちらとも言えない</li> <li><input type="checkbox"/> どちらかと言えば嫌い</li> <li><input type="checkbox"/> 嫌い</li> </ul>

5-1 今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。あてはまる数字1つに○をつけてください。

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. <u>住み続けたい</u>       | 3. どちらともいえない |
| 2. <u>住み続けたいとは思わない</u> | 4. わからない     |

「1. 住み続けたい」と回答した方にうかがいます。住み続けたいと思う理由は次のうちどれですか。あてはまる数字すべてに○をつけてください。

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 住み慣れているから            | 7. 勤務先が近いから          |
| 2. 住宅費が安いから             | 8. 通勤・通院などの交通の便が良いから |
| 3. 光熱費が安いから             | 9. 自然に恵まれているから       |
| 4. 家族、友人など、頼れる人が近くにいるから | 10. 買い物に便利だから        |
| 5. 近所付き合いに恵まれているから      | 11. その他 (具体的に )      |
| 6. 医療機関が充実しているから        | 12. 特に理由はない          |

「2. 住み続けたいとは思わない」と回答した方にうかがいます。住み続けたいと思わない理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 住み慣れていないから            | 7. 勤務先が遠いから          |
| 2. 住宅費が高いから              | 8. 通勤・通院などの交通の便が悪いから |
| 3. 光熱費が高いから              | 9. 自然に恵まれていないから      |
| 4. 家族、友人など、頼れる人が近くにいないから | 10. 買い物に不便だから        |
| 5. 近所付き合いに恵まれていないから      | 11. その他 (具体的に )      |
| 6. 医療機関が充実していないから        | 12. 特に理由はない          |

5-2 幕別町で暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの3つ以内で○をつけてください。

- |                               |                                      |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 手ごろな物件が (価格や広さなどの条件) あること  | 7. 子育て環境の良さ (保育園や幼稚園の育児環境、子供の遊ぶ環境)   |
| 2. 通勤の便利さ (職場に近い、交通アクセスが良いなど) | 8. 教育環境の良さ (学校や塾などの教育環境、子供の通学の便など)   |
| 3. 生活の便の良さ (買物がしやすい、駅まで近いなど)  | 9. 安心できる環境 (治安が良い、病院が近い、近所付き合いがしやすい) |
| 4. 親が近くに住むこと、または親と同居できること     | 10. 福祉政策・施設の充実                       |
| 5. 自然が多く、公園が充実していること          | 11. 地域への愛着 (故郷や以前の居住歴)               |
| 6. 趣味やレジャーが楽しめること             | 12. 町のイメージや雰囲気                       |
|                               | 13. その他 ( )                          |



以下の各項目に対する、あなたの満足、及び、あなたの満足度を高めるうえでの大切さについて、各項目のあてはまる数字に○をつけてください。

項目	満足度 及び 重要度	どの程度、 満足していますか？					どの程度、 大切ですか？				
		不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している	大切ではない	あまり大切ではない	どちらともいえない	まあ大切である	大切である
1. 町の暮らし全般について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 道路舗装や沿道の整備状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 上下水道の整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 家庭ゴミの処理（分別方法）について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 宅地造成・住宅整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. まちなみや景観（公園・建物・看板など）の整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 除排雪体制の整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 公共料金（水道・ガス）について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 公害の防止について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 森や川などの自然環境について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 商店街や町内経済の魅力について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 農林業の振興について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 地域資源を活用した製品開発・販売について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 働く場の確保状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 新規企業の誘致状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 買い物の便利さ		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. 通勤・通学・通院などの日常の交通手段		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 管外・道外などに行くための交通手段		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 快適な住環境について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20. 情報通信網の整備状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 消防・救急体制の整備状況について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 高齢者や障害者福祉について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. 保育所・子育て支援		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. 子供の遊び場の整備状況		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. 医療体制（医療施設）の整備状況		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 防災（避難場所・耐震）に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 防犯対策		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. 交通安全対策		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 学校や図書館の教育環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. 次世代を担う人材育成に関する取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 生涯教育を受ける環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	満足度 及び 重要度	どの程度、 満足していますか？					どの程度、 大切ですか？				
		不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している	大切ではない	あまり大切ではない	どちらともいえない	まあ大切である	大切である
32. スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33. 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34. 市民活動（ゴミ拾いや植樹など）へ参加しやすい社会に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35. 郷土愛の向上に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36. 町内地域の交流・連携に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37. 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38. 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39. 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40. 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

8-1 幕別町の自慢を1つ挙げるとしたら何だと思いますか。自由にご記入ください。  
（豊かな自然、パークゴルフ発祥の地、グルメ、子育てしやすい環境など）

8-2 幕別町の魅力として今後、新たに広く町外にアピールしていくべきものは何だと思いますか。自由にご記入ください。

8-3 その他、幕別町の人口の将来展望について、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。



## 『人口の将来展望に関する調査』のご協力をお願い

転出者

幕別町を転出された皆様：

全国的に少子高齢化が進行する中、幕別町の人口は、平成 17 年の 27,482 人から、現在の 27,596 人と 10 年間で、約 1%の微増となっております。しかし、幕別町の内状は、3 地区における人口の偏りが目立ち、死亡数が出生数を上回る傾向となっており、将来的には幕別町の人口も減少すると推計されております。このため、幕別町では、地方創生に向けた今後 5 か年の施策の方向性を位置づける「幕別町創生総合戦略」を平成 27 年度中に策定し、町の総力を結集して地方創生に取り組んでまいりたいと考えています。そこで、以前に幕別町にお住まいになられた皆さまを対象に、転出理由、転居後の暮らしなどについてアンケート調査を行うことと致しました。

アンケート調査の内容は、「幕別町創生総合戦略」を考えるための基礎資料にさせていただくものであり、個人が特定されたり、調査内容を他の目的に利用することはございません。

調査の趣旨をご理解いただき、7月24日（金）迄にアンケートにご回答いただき、同封した封筒でご返送いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

幕別町長：飯田晴義

- ◎ このアンケート調査は、住民基本台帳により分類した平成 26 年から過去 3 年に幕別町から転出された世帯に対し、無作為にご送付させていただいております。
  - ◎ 調査票は 1 部同封させていただいております。
  - ◎ このアンケートは、あなた自身のことや幕別町からの転出理由や現在のお住まいへの転入理由に関するご意見、考え方をお聞きするものです
  - ◎ アンケートの内容は、10 分程度で終わる内容です。
  - ◎ 記入漏れのないように、ご注意願います。
  - ◎ データは統計的に処理し、調査事業のみに使用いたします。他の目的に利用することはございません。
- 
- ◆ ご記入いただけましたら、同封の『返信用封筒』にご封入いただき、お手数ですがお近くの郵便ポストなどにご投函願います。
  - ◆ 平成 27 年 7 月 24 日（金）までに返送をお願いします。

### 【本調査に関するお問い合わせ】

このアンケート調査は、（一社）北海道開発技術センターが受託し、実施しております。  
（一社）北海道開発技術センター 担当：小西・越後  
〒001-0011 北海道札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号  
Tel：011-738-3363 fax：011-738-1889 E-mail:konishi@decnnet.or.jp



<p>具体的に、転出先のまちのどのような点に魅力を感じましたか？ ※複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> イベントなどが多く、まちににぎわいがある</li> <li><input type="checkbox"/> 店舗やレクリエーション施設が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 医療・福祉が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 出産や子育ての環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 学校教育が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 文化施設や図書館などの生涯学習の環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> スポーツをする環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 自動車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> バスや鉄道など公共交通での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 徒歩や自転車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 上下水道や道路など都市基盤が整備されている</li> <li><input type="checkbox"/> ゆとりのある住宅環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 豊かな自然が残っている</li> <li><input type="checkbox"/> 自然エネルギーの活用やリサイクルなど環境に配慮している</li> <li><input type="checkbox"/> 防犯面で安全である</li> <li><input type="checkbox"/> 防災対策がしっかりしている</li> <li><input type="checkbox"/> 地域コミュニティや町内会活動が活発である</li> <li><input type="checkbox"/> 税金が安い</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>
<p>今のお住まいに決めた理由は何ですか？ ※複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 自分や家族の持ち家や土地があったから</li> <li><input type="checkbox"/> 家賃が魅力的だったから</li> <li><input type="checkbox"/> 物件（室内）の設備が魅力的だったから</li> <li><input type="checkbox"/> 職場から近かったから</li> <li><input type="checkbox"/> イベントなどが多く、まちににぎわいがある</li> <li><input type="checkbox"/> 店舗やレクリエーション施設が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 医療・福祉が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 出産や子育ての環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 学校教育が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 文化施設や図書館などの生涯学習の環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> スポーツをする環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 自動車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> バスや鉄道など公共交通での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 徒歩や自転車での移動がしやすい</li> <li><input type="checkbox"/> 上下水道や道路など都市基盤が整備されている</li> <li><input type="checkbox"/> ゆとりのある住宅環境が充実している</li> <li><input type="checkbox"/> 豊かな自然が残っている</li> <li><input type="checkbox"/> 自然エネルギーの活用やリサイクルなど環境に配慮している</li> <li><input type="checkbox"/> 防犯面で安全である</li> <li><input type="checkbox"/> 防災対策がしっかりしている</li> <li><input type="checkbox"/> 地域コミュニティや町内会活動が活発である</li> <li><input type="checkbox"/> 税金が安い</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>



将来、幕別町に戻り、生活したいと思えますか？	<input type="checkbox"/> いつかは、幕別町に戻りたいと思う <input type="checkbox"/> 幕別町に戻りたいと思わない <input type="checkbox"/> わからない
いつ頃、幕別町に戻りたいと考えていますか？	<input type="checkbox"/> 仕事があれば、すぐにでも戻りたい <input type="checkbox"/> 結婚したら戻ってきたい <input type="checkbox"/> 子供を育てるときに戻ってきたい <input type="checkbox"/> 両親に介助が必要になったら戻ってきたい <input type="checkbox"/> 退職後、戻ってきたい <input type="checkbox"/> その他( )
それは、具体的に自分が何歳くらいのときですか？	( ) 歳

6-1 幕別町の自慢を1つ挙げるとしたら何だと思いますか。自由にご記入ください。  
 (豊かな自然、パークゴルフ発祥の地、グルメ、子育てしやすい環境など)

6-2 幕別町の魅力として今後、新たに広く町外にアピールしていくべきものは何だと思いますか。自由にご記入ください。

6-3 その他、幕別町の人口の将来展望について、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。



# 人口の将来展望に関するアンケート調査概要

資料 4

## 1. 目的

全国的に少子高齢化が進行する中、幕別町の人口は、平成 17 年の 27,482 人から、現在の 27,596 人と 10 年間で、約 1%の微増となっております。しかし、幕別町の内状は、3 地区における人口の偏りが目立ち、死亡数が出生数を上回る傾向となっており、将来的には幕別町の人口も減少すると推計されております。

このため、幕別町では、地方創生に向けた今後 5 か年の施策の方向性を位置づける「幕別町創生総合戦略」を平成 27 年度中に策定し、町の総力を結集して地方創生に取り組んでまいりたいと考えています。そこで、幕別町在住の方や転出者を対象に、幕別町の人口の将来展望の参考とするアンケート調査を行うことと致しました。

## 2. アンケート調査の概要

【実施期間（予定）】7月上旬～7月24日（金）

【調査の内容】

表 人口の将来展望に関するアンケート調査対象者と主な質問内容

	対象	配布数	主な質問内容	人口ビジョン策定における用途（案）
①	45 歳以上の世帯主	幕別：170 サンプル 札内：545 サンプル 忠類：45 サンプル	人口減少に対する意識・幕別町での定住意欲及びそれを実現する施策ニーズ・高齢期の暮らし 等	今後高齢期を迎える年齢層及び高齢期年齢層における人口増減の背景、定住意欲を支持する施策ニーズの把握とその分析
②	20～45 歳未満の女性（未婚・既婚含む）	幕別：260 サンプル 札内：820 サンプル 忠類：70 サンプル	結婚の意思やそれを実現する施策ニーズ・将来の子ども数、子育ての弊害や子育て支援となる施策ニーズ・幕別町での定住意欲及びそれを実現する施策ニーズ 等	未婚・既婚者の出産・結婚・子育てニーズと人口増減の関係、定住意欲を支持する施策ニーズの把握とその分析
③	高校生	500 サンプル（幕別高校及び江陵高校を通じて配布）	卒後の進路・進路決定に重要なサポート・幕別町での定住意欲 等	高校生の就職・進学動向を把握することで、進路サポートの施策ニーズの把握とその分析
④	転入者	500 サンプル	他自治体からの転入理由・幕別町での定住意欲及びそれを実現する施策ニーズ・人口減少に対する意識 等	転入者の転入理由の把握、定住意欲を支持する施策ニーズの把握とその分析、（転出者との比較分析）
⑤	転出者	500 サンプル	他自治体への転出理由・幕別町への再転入意欲 等	転出者の転出理由の把握、定住意欲を支持する施策ニーズの把握とその分析（転入者との比較分析）

以上

## 幕別町まち・ひと・しごと創生に関するアイデア募集の結果

### ○募集テーマ

- ・「しごと」を増やし、安心して働ける仕組みをつくる
  - ・都市から幕別町に「ひと」の流れをつくる
  - ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
  - ・「まち」に活力をもたらし、安心して暮らす社会環境をつくる
- ※上記テーマ以外に関するご意見でも構いません

### 1 募集期間

平成27年4月17日(金)から平成27年5月29日(金)まで

### 2 募集の周知

町のホームページ、広報5月号、十勝毎日新聞(4月18日)

### 3 提出方法

- [持参]・・・役場、札内支所、忠類総合支所、糠内出張所  
[その他]・・・郵送、FAX、電子メール

### 4 意見提出件数 1件 [下記のとおり]

「まちの活性化」について(無記名・郵送)

みなさんは車椅子を押したり乗ったりした事がありますか？

どこの場所にも車椅子を用意してあり「ハイ、どうぞ！みんなに優しい車椅子ですよ～」と言わんばかりに置いてあります。でも、車椅子ごと入るスロープがなかったり空気が入っていなかったり。トイレが車椅子で使用出来なかったり。

町の中も決して障害を持っている方には優しくないと思います。

どうでしょう、幕別町まるごと障害を持つ人やお年寄り、子どもにとって優しい町にしてみてもは？それが温泉や動物園、遊園地、植物園など安心して楽しめる障害を持つ人がツアーを組んで来てくれるようなリゾート施設を作ってみてはどうでしょう？

夢のような話ですよ。でも、そんな所があったらいいなと思います。

それとパン屋さん、お菓子屋さん、花屋さんがあって、そこで働く人達も色々な障害を持った人・・・

雨の日も雪の日も楽しく遊べて楽しく買い物が出来る屋根つきの所だったらなおさら・・・って、どうして私がこんなに障害を持つ人にこだわるのか・・・

私の息子が病気で車椅子になり、その息子と出かけた時にとっても大変だと思ったからです。どうですか、みなさん、車椅子で町の色々な所、行ってみたい下さい。

笑顔の集まる町はみんなが幸せを感じて人を招くと思います。

どうですか？

♡あったかあ〜い町作ってもらえませんか？





# 人口減少対策に関する 若手職員プロジェクトチーム報告書



平成27年 2月  
人口減少対策に関する  
若手職員プロジェクトチーム